土庄町景観計画

平成２３年　３月

平成２９年１２月　変更

土庄町

土庄町景観計画

目　次

１．景観計画の目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

２．景観の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

３．地区別景観特性と景観まちづくりの課題・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
(1) 土庄地区・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
(2) 淵崎地区・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
(3) 大鐸地区・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
(4) 北浦地区・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16
(5) 四海地区・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・20
(6) 豊島地区・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・24
(7) 大部地区・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・28

４．景観計画の区域と方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・32
4-1. 景観計画区域 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・32
4-2. 景観まちづくりの理念と目標 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・33
4-3. 景観まちづくりの全体方針 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・34
4-4. 景観まちづくりの地区別方針 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・36
(1) 土庄地区・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・36
(2) 淵崎地区・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・38
(3) 大鐸地区・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・40
(4) 北浦地区・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・42
(5) 四海地区・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・44
(6) 豊島地区・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・46
(7) 大部地区・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・48

５．景観まちづくりの推進方策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・50
5-1. 景観まちづくりに向けた届出と景観形成基準 ・・・・・・・・・・・・・・50
(1) 届出が必要な事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・50
(2) 景観まちづくりの基準・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・51
5-2. 重点的に景観まちづくりを図る方策 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・53
(1) 景観重要建造物及び景観重要樹木の指定の方針・・・・・・・・・・・・・・53
(2) 重点地区の指定の方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・54
5-3. 景観誘導方策 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・55
(1) 景観重要公共施設の整備に関する方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・55
(2) 景観農業振興地域整備計画の策定に関する方針・・・・・・・・・・・・・・55

はじめに

土庄町の位置する瀬戸内海は、自然と人々との営みによって育まれた多くの優れた景観を有し、我が国で最初の国立公園の一つとして指定されました。

本町の皇踏山や銚子渓、そして大余島、葛島などの多くの島々は瀬戸内海国立公園特別地域に指定されています。また、本町には山、川、海の豊かな自然景観、古くから守られてきた歴史文化の景観、生活の場であるまちや集落の景観などがあります。しかし、一方では、リゾート開発後使われなくなった施設や高齢化に伴う空き家の増加、伝統的建築物の消滅などが進んでいます。

こうした中、我が国ではじめて景観に関する総合的な法律である景観法が平成 16 年に制定され、地方公共団体は景観行政団体として景観法に基づく景観計画や景観条例を定め、地域の景観特性を活かした良好な景観づくりに向けた実効性のある取り組みを推進していく環境が整いました。この景観法を受け、香川県では「景観形成指針」を平成 19 年に策定し、更に平成 22 年には小豆島及び直島周辺をモデル地区とした「瀬戸内海景観ガイドライン」を策定し、瀬戸内海地域の景観づくりの基本的な指針を示しました。

土庄町景観計画は、香川県「瀬戸内海景観ガイドライン」に基づき、土庄町の美しい景観を守り、育て、創っていくことをめざすもので、次の３つの役割を担います。

今後、景観法による様々な景観まちづくりの仕組みを有効に活用しつつ、町民・事業者・行政が連携し、協働による景観まちづくりの取り組みを進めていきます。

【土庄町景観計画が担う３つの役割】

■土庄町が有する景観特性の明確化

美しい景観を守り・育て・伝えていくためには、まず、本町が有する様々な景観を把握・共有することが重要です。町域全体や地域ごとの視点、また、町民が親しみ大切に感じている視点から、本町の景観特性を明確に示すことで、未来へつなぐべき景観に対する町民共通の認識を深めるための役割を果たします。

■景観からのまちづくりの推進

本計画は、「土庄町総合計画」などに示されている将来像の実現に向け、景観の視点からの取り組みを示すものです。これら上位・関連計画と整合・調整を図りながら、総合的な景観まちづくりを推進する役割を果たします。

■町民・事業者・行政の連携を促す共通の指針

総合的な景観まちづくりの推進のためには、庁内関係部署はもとより、国や県、町民や事業者が目標を共有化し、また、景観法の制度を積極的に活用しつつ、連携して取り組んでいく必要があります。このため、本計画は町民・事業者・行政が一丸となって景観形成を推進するための共通の指針としての役割を果たします。

１．景観計画の目的

本町は、小豆島の西北部に位置し、小豆島、豊島、小豊島、沖島など多くの島から構成されています。

こうした島々と瀬戸内海と人々が織りなす「瀬戸内海の多島美」、銚子渓、皇踏山などの優れた自然景観、小豆島八十八ケ所霊場をはじめとする歴史的な景観、土庄港を中心とする港町（都市）の景観、農山漁村の景観、小豆島農村歌舞伎や棚田などの文化的な景観など多くの優れた景観を有しています。

本景観計画（案）では、地域の景観は、訪れる人にとってはすばらしい価値を持っており、日常の風景の価値に町民が気づき、誇りに感じることで、景観を通じたまちづくりへの町民の参加意識を高めるとともに、地域に対する町民の愛着と誇りを醸成し、「土庄町らしさ」があふれる活力に満ちたまちづくりに繋げて行くことを目標としています。

美しい景観づくりは、景観まちづくりのひとつの切り口であり、町の魅力と活力の向上に資するとともに、観光振興による経済効果や、地域間交流の促進に寄与するものです。そのため、町の総合計画における「まちづくりの基本視点」と整合を図り、「土庄町らしい」景観づくりを目指します。

第５次土庄町総合計画
「まちづくりの基本視点」
(1) 住民が主役のまちづくり
(2) パートナーシップによるまちづくり
(3) 生活・公共空間の質的向上
(4) 町が進める各種施策の連携と総合化

注）ここでいう景観とは、「景色」として視覚的に写る物的環境であるとともに、「観る」「観られる」という人の行為でもあります。そのため地域に住んでいる人々やその生活の営みによって生まれるものを含んでいます。

2．景観の概要

本町は小豆島、豊島、小豊島、沖島など有人島をはじめとして、葛島、大余島など多くの島から構成されています。それぞれの島は相互に関連し合い、地域を越えて瀬戸内海の多島美を形成しています。また、それぞれの地域では、特有の歴史と文化を持つ景観が形成されています。

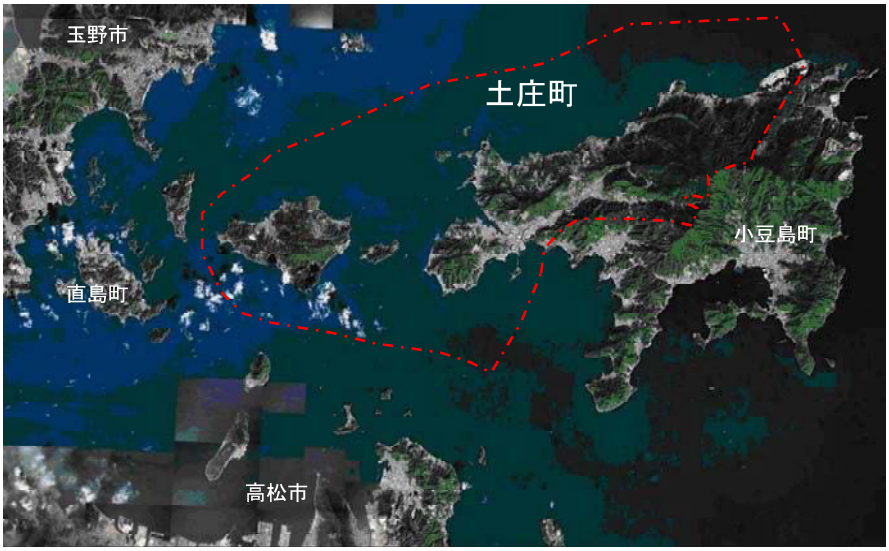
■自然の景観、歴史的な景観、都市・集落の景観、文化的な景観をみる

- **【自然の景観】**：瀬戸内海国立公園の特別地域に指定されている皇踏山、銚子渓など山地部の景観、銀波浦や双子浦などの浜辺の景観があります。
- **【歴史的な景観】**：小豆島八十八ケ所霊場など、小豆島の自然景観の中の静寂森厳な景観があります。
- **【都市・集落の景観】**：小豆島の玄関となる土庄港、「平和の群像」などのモニュメント、西光寺門前町を構成する「迷路のまち」、歴史的遺産を継承した「大坂城残石記念公園」、唐櫃寒田地区の棚田、伝統的な漁村などの景観があります。
- **【文化的な景観】**：肥土山の小豆島農村歌舞伎や虫送り、秋の太鼓祭り、神社境内の桟敷などの伝統ある文化的景観があります。

■アンケート調査による住民と来訪者が共に認める大切な景観

- **【自然の景観】**：「エンジェルロードなどの浜辺の景観」「高台からの眺め」
- **【歴史的な景観】**：「小豆島八十八ケ所霊場」「神社・鎮守の森」「伝統的な集落」
- **【都市・集落の景観】**：公園や並木などに使われている「オリーブの木」
- **【文化的な景観】**：「肥土山農村歌舞伎」「田園風景（肥土山など）」

などがあげられています。



衛星画像で見た土庄町の位置（Google Earth™ 地図サービスより引用）

3．地区別景観特性と景観まちづくりの課題

本町の各地区では、地形や植生など自然的条件、町民の多様な活動を通じて形成されたまち並みや、地区固有の景観資源などにより、特色のある景観が形成されています。こうした地区毎の特徴ある景観から、７地区に区分することができます。

地区区分図

【７地区の景観特性概要】

・土庄地区は、大深山を中心とする前島の海岸線に、土庄港と土庄本町のまち並みがあります。

・淵崎地区は、皇踏山の麓に土渕海峡に面したまち並みと新しいオリーブタウン、伝法川下流域の田園風景があります。

・大鐸地区は、大麻山と東西方向に美しの原高原と皇踏山を結ぶ稜線に挟まれた盆地に、伝法川流域に広がる田園風景があります。

・北浦地区は、馬越から小海に至る美しい海岸線が広がります。

・四海地区は、小江の漁港、伊喜末八幡神社から長浜に至る美しい海岸線と滝宮のため池群と田園風景があります。

・豊島地区は、壇山、唐櫃の清水と棚田、宮ノ浜等の美しい浜辺、甲生の片山邸等があります。

・大部地区は、寒霞渓の北側の豊かな山林とこぼれ美島等美しい海岸線があります。

【景観まちづくりの共通課題】

地区毎の景観まちづくりの共通課題として、次の事項があげられます。

・耕作放棄地が増加しており、豊かな田園景観を保全する上でも農地の維持管理が求められています。

・少子高齢化による農村集落の空家が増加しています。空家等の適切な維持管理が求められています。

・住民と来訪者が共に認める景観は特に保全と活用などが必要です。

注）豊島の壇山の文字は、既存資料によっては「壇山」と「檀山」のどちらも使われていますが、ここでは小豆郡誌（昭和 48 年 2 月発行）に基づき「壇山」とします。

(1) 土庄地区

土渕海峡西側の前島が土庄地区です。土庄港は、島民や多くの来訪者が利用する小豆島の玄関口です。フェリー航路からは皇踏山と大深山の山容、土渕海峡から土庄港を眺望できます。土庄港は港湾施設が整い、かどや製油工場、ホテル等の観光施設、皇踏山を借景とした平和の群像等からなる港の景観があります。町役場周辺のまち並みは、西光寺門前町を中心とする「迷路のまち」として景観整備が進められています。土渕海峡の南側には銀波浦が広がり、大余島、中余島を結ぶエンジェルロード、更に鹿島、柳、千軒、小瀬、柚ヶ浜（柚の浜ともいいます）に至る海岸（西浦地区）からは、海岸の美しさと瀬戸内海多島美の眺望景観が広がっています。

1）景観特性

【自然の景観】

●銀波浦のエンジェルロード、鹿島海岸の松並木等の白砂青松の景観、千軒海岸、柚ヶ浜等西浦地区には自然海岸が残り、千軒から柚ヶ浜に至る海岸からの夕陽は瀬戸内海の美しい景観です。

●大深山から高見山に連なる山並みと重ね岩等の特徴のある頂は、海岸やフェリー航路からの眺望景観を形成し、高見山等からは瀬戸内海多島美の眺望があります。

銀波浦（エンジェルロード）

鹿島海岸の松

重ね岩

景観資源【自然の景観】

景観要素	景観資源
海、島、島並み、湾、岩	フェリー航路からの眺め、島内からの眺め、土渕海峡（世界一狭い海峡）、大余島
海岸、浜、半島(岬)、鼻	自然海浜保全地区（鹿島、千軒、柚ヶ浜）、銀波浦（エンジェルロード、余島の磯）、鹿島の磯、千軒の浜辺、小瀬海岸、戸形崎、木香の浜、五色浜、柳海岸
山、山並み	大深山、高見山、小瀬不動山の重ね岩
浜辺等からの眺め	小瀬海岸など西側海岸沿いからの豊島・小豊島などの島々を望める美しい景観・夕陽、夕陽スポット（千軒海岸、戸形崎）、王子前漁港から柳漁港の海岸一帯（自然海岸と余島・屋島・五剣山の眺望）、千軒海岸からの眺め（瀬戸大橋と島々）
高台等からの眺め	高見山（展望台）からの眺望と日の出ポイント、重ね岩からの瀬戸内海の眺望・夕陽
樹木	西光寺のイチョウ、鹿島海岸の松並木、天神神社の桜
「絵になる風景」看板	エンジェルロード進入口案内板、西浦（重ね岩登山口）

※自然海浜保全地区：香川県自然海浜保全条例で保全する地区に指定されたところです。（以下同じ）

【歴史的な景観】

●58 番西光寺は、朱塗りの山門と三重の塔（誓願の塔）及び大銀杏が特徴的な景観であり、山門からは門前町を形成しています。

●60 番江洞窟は、漁港の奥の岩壁の下に開いた海食洞にお堂があり、古くからの変わらぬ景観を保っています。

●大深山のふもとには大坂城石垣石切小瀬原丁場跡、大坂城石垣石切千軒丁場跡等の史跡群があります。

西光寺

西光寺の三重の塔

江洞窟

景観資源【歴史的な景観】

景観要素	景観資源
史跡	大坂城石垣石切小瀬原丁場跡、大坂城石垣石切千軒丁場跡、戸形崎の縄文時代の遺跡
寺社、鎮守の森	小豆島八十八ケ所霊場、小豆島霊場会総本院、58 番西光寺、59 番甘露庵、60 番江洞窟、61 番浄土庵、62 番大乗殿、63 番連華庵、64 番松風庵、土庄八幡神社、亀神社跡、足尾神社 、天神神社 、鹿島明神社、堀神社（堀大明神）とろくろ岩、愛宕神社（秋葉神社）
伝統的なまち並み	西光寺門前町（迷路のまち）
伝統的な建築物	西光寺の三重の塔（誓願の塔）
「絵になる風景」看板	―

◆コラム　江戸末期の画家松川半山は小豆島の風景を小豆島絵図に残しています。自然景観はそのままに、建物が建て替わっても道路や地割りに面影を残しています。

江洞窟（松川半山筆）

土ノ庄湊と永代橋（松川半山筆）

松川半山（1818－1882）江戸後期-明治時代の画家。文政元年生まれ。大坂の狂歌師鬼粒亭力丸の子。菅松峯に学ぶ。風景画を得意とし，暁鐘成著「淀川両岸一覧」などに挿絵を描く。

【都市・集落の景観】

●土庄港は小豆島の玄関口をなし、土庄港周辺はフェリーターミナル、宿泊施設、観光施設が集まる都市的景観が形成されています。

●土庄町役場周辺は、土庄町の中心として公共施設が集積し、中心市街地を形成しています。

●西光寺門前町を中心とした「迷路のまち」は路地からなるまち並み景観を形成しています。

●銀波浦には、ホテル等宿泊施設が集まり保養地を形成しています。

●柳、千軒、小瀬には、黒焼杉板を使った伝統的な落ち着いたまち並みがあります。

土庄港

迷路のまち

銀波浦のホテル群

景観資源【都市・集落の景観】

景観要素		景観資源
都市的景観	市街地の景観	土庄港から国道 436 号に至る市街地、銀波浦のホテル群、島の市通り、商店街（中央通り東・西、銀杏通り、オリーブ通り西）、迷路のまち
	工業地の景観	土庄港周辺の工場
	公園、レクリエーション施設の景観	高見山公園、神戸 YMCA 余島野外活動センター
	道路の景観	国道 436 号のオリーブ並木
	公共施設の景観	土庄町役場と土渕海峡ふれとぴあ橋、土庄高等学校、土庄港フェリーターミナル
	民間の建造物等	小豆島国際ホテル、土庄港観光センター
	美術館、資料館等	小豆島尾崎放哉記念館
	屋外の美術作品	平和の群像、石の彫刻（千軒海岸、戸形グランド）
	港の景観	土庄港、土庄東港
農林漁業的景観	漁村集落	柳
	伝統的産業	醤油製造（元屋商店）、ごま油製造
「絵になる風景」看板		土庄港（港務所付近）

【文化的な景観】

●小豆島八十八ケ所霊場は、前島の自然景観の中に点在し、遍路道は前島を一周しています。
●土庄八幡神社の秋の太鼓祭りは、伝統行事として受け継がれています。
●お遍路さんをもてなす伝統が「前島おかげさまハイキング（４月第１日曜日）」として受け継がれています。
●戸形崎の鯉のぼりは、全国でも珍しい海の鯉のぼりとして、春の風物詩となっています。

土庄八幡神社の太鼓祭り

前島おかげさまハイキング

戸形崎の鯉のぼり

景観資源【文化的な景観】

景観要素	景観資源
信仰上の活動から生まれた文化的な景観	小豆島八十八ケ所霊場と遍路道
伝統的な風習、文化	大師市、鹿島明神社奉納子ども相撲大会
伝統的な祭り	秋の太鼓祭り（土庄八幡神社）
新たな文化景観	前島おかげさまハイキング、戸形崎の鯉のぼり
「絵になる風景」看板	―

2) 景観まちづくりの課題

●西光寺の門前町として古い歴史と伝統のある「迷路のまち」を中心とする土庄本町は、中心市街地の衰退によりかつての賑わいはなくなりつつあります。地域の景観を形づくる伝統的な民家の老朽化と建て替え、空き地化が進んでおり、伝統的なまち並み景観が失われつつあります。
●土庄港は小豆島の玄関口としての機能を持ちますが、旅客施設が分散し、新しいフェリーターミナルと古い施設など統一感に欠けています。
●銀波浦周辺はホテル等の集積が進んでいますが、老朽化した施設等が残置されているなど保養地としての調和のとれた景観づくりが求められます。
●高見山からの瀬戸内海の眺望は、樹木の生育によって妨げられています。
●前島を一周する遍路道の中央に位置する戸形崎周辺に、休憩施設等が求められています。
●白砂青松をなす鹿島の松並木は、松枯れが進行しています。

(2) 淵崎地区

土渕海峡に面した淵崎は、八代田邸（油屋、塩屋）など屋敷町の景観があります。東洋紡績渕崎工場跡地は、オリーブタウンとしてショッピングセンター等の新しい都市景観が形成されています。

伝法川流域は田園景観が広がり、伝法川河口は宮ノ下干潟となって双子浦につながります。

1）景観特性

【自然の景観】

●土庄港のフェリー航路からは、雄大な皇踏山を眺めことができます。

●皇踏山と伝法川対岸の大麻山から高壺山に連なる山並みは、富丘八幡神社へ続き、双子浦の海岸線に至る連続性のある山並み景観を形成しています。

●富丘八幡神社からの瀬戸内海の景観は、讃岐十景（昭和２年香川新報）に選定されています。

●宝生院のシンパクは樹齢 1500 年以上といわれ、宝生院の佇まいとともに荘厳な景観を形成しています。

皇踏山の山並み

双子浦と伝法川

宝生院のシンパク

景観資源【自然の景観】

景観要素	景観資源
海、島、島並み、湾、岩	フェリー航路からの眺め、島内からの眺め、 土渕海峡（世界一狭い海峡）
海岸、浜、半島（岬）、鼻	双子浦、宮ノ下干潟
山、山並み	皇踏山（青門の山）、高壺山
森林	皇踏山の山林、高壺山の山林
河川	伝法川
浜辺等からの眺め	双子浦展望台、おんばたの景観、大谷からの出船入船や夕陽の眺め
高台等からの眺め	皇踏山からの眺め、富丘八幡神社からの眺め（讃岐十景）
樹木	宝生院のシンパク、浄源坊のウバメガシ、日本最古級のオリーブの木、森家の細葉たぶの木、浄源坊前の荒神さんのもくの木、 八代田植物馴化園のメタセコイヤとセコイヤ
「絵になる風景」看板	よみがえる讃岐十景（双子浦）

【歴史的な景観】

●富丘八幡神社や富丘古墳群は、瀬戸内海の眺望をあいまって、歴史的景観を形成しています。

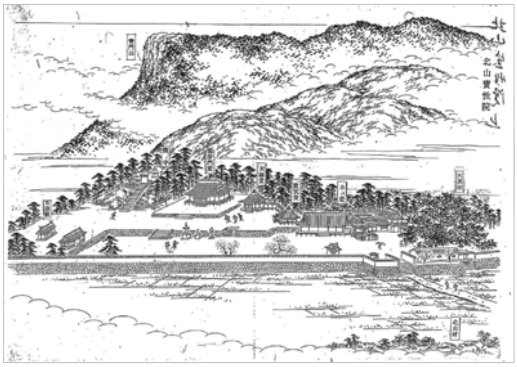
●54 番宝生院は、石垣と土塀に囲まれた本堂とシンパクとが歴史景観を形成しています。

富丘八幡神社

宝生院

景観資源【歴史的な景観】

景観要素	景観資源
史跡、名勝	皇踏山城跡（中世の山城）、富丘古墳群、富丘八幡神社の桟敷、陣屋跡、猪鹿垣
寺社、鎮守の森	小豆島八十八ケ所霊場、49 番東林庵、50 番遊苦庵、51 番宝憧坊、52 番旧八幡宮、53 番本覚寺、54 番宝生院、55 番観音堂、56 番行者堂、57 番浄源坊、65 番光明庵、富丘八幡神社、行者原 薬師堂、六字庵、西権現さんと東権現さん
伝統的なまち並み	淵崎の屋敷町
伝統的な建築物	井上家の観音堂、八代田邸（油屋、塩屋）
「絵になる風景」看板	富丘八幡（富丘八幡入口付近）



宝生院（松川半山筆）

皇踏山（松川半山筆）

【都市・集落の景観】

●東洋紡績渕崎工場跡地は、オリーブタウンと呼ばれショッピングセンター等の新たな景観がつくられています。

●淵崎の屋敷町は、伝統的な町屋を中心としたまち並み景観を形成しています。

●淵崎周辺では、住民による淵崎おんばたルミナリエ等の取り組みが行われています。

オリーブタウン

淵崎の屋敷町（八代田邸・塩屋）

淵崎おんばたルミナリエ

要鉄ぎゃらりぃ

景観資源【都市・集落の景観】

景観要素		景観資源
都市的景観	市街地の景観	オリーブタウン（東洋紡績渕崎工場跡地）、 商店街（富丘通り、双子通り、オリーブ通り東・中央、要鉄）、 淵崎の屋敷町、淵崎おんばたルミナリエ、要鉄ぎゃらりぃ
	公園、レクリエーション施設の景観	八代田植物馴化園
	道路の景観	国道 436 号のオリーブ並木
	公共施設の景観	土庄中学校、土庄町立中央図書館（多くの古文書等も保有）
	港の景観	おんばた
農林漁業的景観	田園	北山、上庄
	里山	高壺山
	伝統的産業	かどや油店
「絵になる風景」看板		上庄（北山大橋付近）、ふしぎ発見（大谷）

【文化的な景観】

●小豆島八十八ケ所霊場は、皇踏山山麓に点在し遍路道で結ばれています。

●富丘八幡神社の秋の太鼓祭りは、伝統ある文化的な景観です。

富丘八幡神社の太鼓祭り

富丘八幡神社の桟敷

景観資源【文化的な景観】

景観要素	景観資源
信仰上の活動から生まれた文化的な景観	小豆島八十八ケ所霊場と遍路道
生活から生まれた文化的な景観	富丘八幡神社の桟敷
伝統的な祭り	秋の太鼓祭り（富丘八幡神社）
「絵になる風景」看板	―

2) 景観まちづくりの課題

●点在する歴史的建造物等を活用し、つながりを持たせ、全体として地域らしさのあふれるまち並みを形成していくことが求められています。

●伝法川の雑草等の除去、水質保全と生態系の保全が求められています。

●住民による景観まちづくりを支援する取り組みが必要です。

●双子浦など景勝地に廃業した施設等が残置されているなど、景勝地としての調和のとれた景観づくりが求められています。

(3)大鐸地区

大鐸地区の平地部は、美しの原高原と皇踏山を結ぶ稜線と大麻山に挟まれた盆地状の地形をなし、伝法川及び殿川流域には田園景観が広がっています。伝法川上流には蛙子池が豊かな水を貯えています。蛙子池から流れ出る伝法川は、銚子渓、銚子の滝を経て、肥土山、黒岩の農地を潤しています。

小馬越には、小豆島観音が肥土山方向を向いて建造され、伝法川周辺の平野部を見下ろしています。

笠滝には、小豆島八十八ケ所霊場 72 番滝湖寺があり、奥の院笠ケ滝は山岳霊場として文化景観をなし、四方を見渡す眺望景観とともに優れた景観を保っています。

小馬越から笠滝は斜面地の農業が行われ、伝法川対岸の大麻山、伝法川周辺の平野部を見渡す眺望地となっています。

1）景観特性

【自然の景観】

●大麻山の山並みや銚子渓などの美しい自然の造形美を有しています。

●伝法川、銚子の滝、蛙子池（小豆島最大のため池）など多くの水辺空間を有しています。

●下黒岩の伝法川沿いは、夏になるとホタルが飛び交います。

大麻山の山並み

銚子渓

景観資源【自然の景観】

景観要素	景観資源
山、山並み	美しの原高原と皇踏山を結ぶ稜線、大麻山
森林	小豆島スカイライン周辺の林、美しの原高原、大鐸財産区有林
河川	伝法川、殿川、銚子渓、銚子の滝
高台等からの眺め	滝湖寺奥の院笠ケ滝からの眺望
樹木	円満寺のシンパク、多聞寺のヤマモモ、馬鳴の桑、 銚子渓の桜の森、小馬越のオリーブの森、王子権現社社叢
「絵になる風景」看板	―

【歴史的な景観】

●多聞寺は、肥土山の農村集落と一体となった歴史景観を保ち、大麻山、笠滝の眺望に優れています。

●滝湖寺奥の院笠ケ滝は、小豆島八十八ケ所霊場のうち山岳霊場として険しい急斜面にお堂が建つ独特な景観をみせています。

●肥土山の離宮八幡神社境内には農村歌舞伎の舞台が残され、舞台の見物席はゆるやかな傾斜地を東西 12 段に区切った階段状の桟敷となり、社と社叢林とが一体となった歴史景観をつくっています。

多聞寺

滝湖寺奥の院笠ケ滝

農村歌舞伎の舞台

景観資源【歴史的な景観】

景観要素	景観資源
史跡、名勝	肥土山の石風呂、笠滝の石風呂、猪鹿垣
寺社、鎮守の森	小豆島八十八ケ所霊場、46 番多聞寺、47 番栂尾山、48 番毘沙門堂（木造青面金剛像「附」金剛童子像）、72 番滝湖寺、滝湖寺奥の院笠ヶ滝、73 番救世堂、74 番円満寺、離宮八幡神社
伝統的なまち並み	肥土山の農村集落
伝統的な建築物	離宮八幡神社境内にある農村歌舞伎の舞台・衣装蔵など
「絵になる風景」看板	―

肥土山離宮八幡神社（松川半山筆）

多聞寺（松川半山筆）

【都市・集落の景観】

●肥土山と黒岩には、集落と水田、里山からなる豊かな田園景観が広がっています。この田園景観は、人々の営みから生まれた景観です。

●伝法川上流には江戸時代に築造された蛙子池があり、農業用水として活用されるとともに、豊かな水辺空間を形成しています。

●小馬越及び笠滝には、傾斜地に集落と田畑がつくられた農村景観が広がっています。

肥土山の眺望

肥土山の田園景観

蛙子池

景観資源【都市・集落の景観】

景観要素		景観資源
農林漁業的景観	道路の景観	小豆島スカイライン
	民間の建造物等	小豆島大観音
	屋外の美術作品	―
	農山村集落	肥土山、黒岩、小馬越、笠滝
	ダム、ため池	蛙子池
	田園	肥土山、黒岩
	里山	ホタルの里（下黒岩の伝法川沿い）
「絵になる風景」看板		大鐸（肥土山浄水場付近）

【文化的な景観】

●肥土山の小豆島農村歌舞伎、虫送りは 300 年以上続く伝統のある文化景観です。

●肥土山では、秋葉山相撲大会が行われています。

●滝湖寺奥の院笠ケ滝は、山岳霊場として険しい急斜面に続く石段とお堂が建ち、多くの参拝者が訪れる文化景観をみせています。

肥土山の虫送り

肥土山秋葉山相撲大会

小豆島八十八ヶ所霊場
（滝湖寺奥の院笠ケ滝参道）

景観資源【文化的な景観】

景観要素	景観資源
信仰上の活動から生まれた文化的な景観	小豆島八十八ケ所霊場と遍路道
伝統的な風習、文化	肥土山の虫送り、肥土山秋葉山相撲大会
伝統芸能	小豆島農村歌舞伎
「絵になる風景」看板	－

2) 景観まちづくりの課題

●農村歌舞伎や虫送り、相撲大会等の伝統を守り育て、次世代に受け継いでいくことが求められています。

●田園景観の保全のため、農地を荒らす野生動物（サル、イノシシ、シカ等）の対策が求められています。

(4)北浦地区

北浦地区は、美しの原高原から皇踏山を結ぶ稜線を背に、馬越から小海に至る美しい海岸線が広がっています。県道 26 号では、馬越岡から小海にかけて美しい海岸線を望むことができます。大きな河川がなく海岸平野も少なく斜面が多いために、馬越から屋形崎にかけて小規模なため池が多くつくられ、段畑が作られています。

小海には、橘川と海岸平野があり田園風景が見られます。道の駅「大坂城残石記念公園」には、大坂城残石の保存と石工の文化を伝承する展示施設が整備されているとともに、歌舞伎舞台が復元されています。

1）景観特性

【自然の景観】

●北側一帯に海岸線が続き、素朴な手の加えられていない自然景観を有しています。

●小豆島西部の西海岸に面しているため夕陽は美しく、夕陽ケ丘や屋形崎などが夕陽スポットとして知られています。

海岸沿いからの眺望

夕陽ヶ丘からの夕陽

王子神社社叢

景観資源【自然の景観】

景観要素	景観資源
海、島、島並み、湾、岩	海岸線からの眺望、小島
海岸、浜、半島（岬）、鼻	馬越浜（炭鉱のなごり砂）
山、山並み	美しの原高原から皇踏山に至る稜線
森林	北側斜面の森林
河川	橘川、鳴滝
浜辺等からの眺め	夕陽スポット（屋形崎三差路付近、オリビアンのゴルフ場の北の県道付近、小海道の駅と城山、七尾七谷堀割付近）
高台等からの眺め	夕陽スポット（夕陽ヶ丘）
樹木	王子神社社叢、馬越の桜並木
「絵になる風景」看板	これが一番の夕陽（屋形崎）

【歴史的な景観】

●小豆島八十八ケ所霊場は歴史的な景観をみせています。

●大坂城石垣石切とび越丁場跡および小海残石群の歴史景観が保全されています。

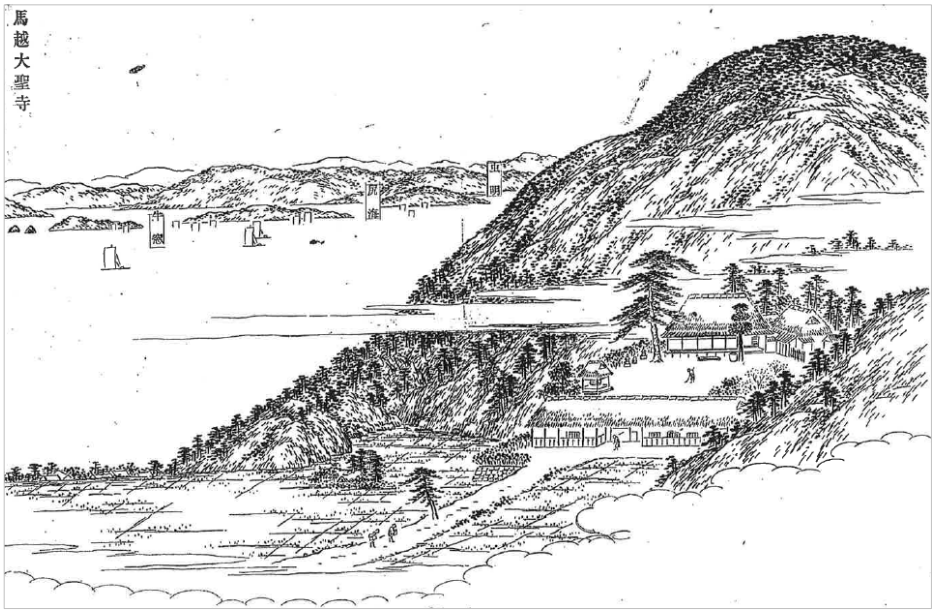
小海残石群

小海の高札場

大聖寺

景観資源【歴史的な景観】

景観要素	景観資源
史跡、名勝	大坂城石垣石切とび越丁場跡および小海残石群、馬越の炭鉱跡、見目の弥生時代の遺跡、小海の鳴滝、猪鹿垣、猪鹿つぼ
寺社、鎮守の森	小豆島八十八ケ所霊場、75 番大聖寺、76 番金剛寺、77 番歓喜寺、78 番雲胡庵、番外藤原寺、鳴滝不動明王、王子神社と社叢、荒神さんの森（馬越、屋形崎、見目）
伝統的な建築物	小海の高札場、宝篋印塔と家形ラン塔
「絵になる風景」看板	―



大聖寺（松川半山筆）

【都市・集落の景観】

●北側一帯に漁港、漁村集落が点在しています。

●小海では、石材産業が行われています。

●道の駅「大坂城残石記念公園」は、大坂城石垣小海残石群の保存と活用を図るための展示施設が整備され、新たな景観をみせています。

●道の駅「大坂城残石記念公園」では、毎月１回産直市が開催され賑わいをみせています。

小海漁港

大坂城残石記念公園の産直市

小豆島馬越醤油

景観資源【都市・集落の景観】

景観要素		景観資源
都市的景観	市街地の景観	道の駅「大坂城残石記念公園」の産直市
	公園、レクリエーション施設の景観	道の駅「大坂城残石記念公園」
	道路の景観	県道 26 号土庄福田線
	公共施設の景観	道の駅「大坂城残石記念公園」
	美術館、資料館等	道の駅「大坂城残石記念公園」
	民間の建造物等	小豆島大観音、オリビアン小豆島
農林漁業的景観	農山村集落	元目、馬越岡、屋形崎、小海
	漁村集落	元目、馬越浜、見目、小海
	ダム、ため池	ため池（馬越岡、屋形崎）
	田園	見目の棚田
	里山	美しの原高原から皇踏山に至る稜線北側斜面
	伝統的産業	小豆島馬越醤油
「絵になる風景」看板		―

大坂城残石記念公園

【文化的な景観】

●道の駅「大坂城残石記念公園」には、大坂城築城残石及び石工等の石文化の展示のほか、歌舞伎舞台が復元され、農村歌舞伎衣装類の展示が行われ、小豆島の文化を保存し、活用する取り組みが行われています。

大坂城残石記念公園

復元された歌舞伎舞台

景観資源【文化的な景観】

景観要素	景観資源
信仰上の活動から生まれた文化的な景観	小豆島八十八ケ所霊場と遍路道
生活から生まれた文化的な景観	道の駅「大坂城残石記念公園」、復元された歌舞伎舞台
伝統的な祭り	小海の夏祭り
「絵になる風景」看板	―

2) 景観まちづくりの課題

●県道からの優れた海の眺望景観を活かすために、眺望を阻害する樹木の適切な維持管理が求められています。

(5)四海地区

土庄港へ向かうフェリーは、四海地区の西海岸に沿って運行しています。フェリー航路からは、葛島、沖島、室崎から皇踏山へ移り変わるダイナミックな景観を見ることができます。四海地区の西海岸からは豊島、小豊島等の島々を背景とした美しい夕陽を見ることができます。

四海地区では、小江の漁港の景観、沖島への渡船、伊喜末八幡神社から長浜に至る美しい海岸線の景観、そして滝宮のため池群や田園風景などの多彩な景観を見ることができます。

1）景観特性

【自然の景観】

●皇踏山の山並みや沖島、葛島の島々などの美しい自然の造形美を有しています。

●皇踏山は、瀬戸内海を見渡す優れた眺望スポットです。

●小豆島西海岸に位置し、豊島、小豊島等瀬戸内海の島々を背景としたすばらしい夕陽（伊喜末赤羽掘割付近、滝宮小豆島農園入口付近）を見ることができます。

皇踏山の山並み

伊喜末赤羽掘割付近からの夕陽

伊喜末八幡神社社叢

景観資源【自然の景観】

景観要素	景観資源
海、島、島並み、湾、岩	フェリー航路からの眺め、島内からの眺め 葛島、沖島、千振島、小豊島
海岸、浜、半島（岬）、鼻	蕪崎（蕪崎断層）、室崎
山、山並み	皇踏山
森林	皇踏山斜面の森林
浜辺等からの眺め	夕陽スポット（伊喜末赤羽堀割付近）
高台等からの眺め	皇踏山からの眺望、夕陽スポット（滝宮小豆島農園入口付近）
樹木	伊喜末八幡神社社叢、八坂神社社叢
「絵になる風景」看板	夕日の丘　さいのきにて（伊喜末峠）

【歴史的な景観】

●小江の集落は、焼杉板黒壁と本瓦葺きの住宅が連続したまち並みをつくっています。

●小豆島八十八ケ所霊場は、伊喜末、小江、長浜、滝宮の集落地の中心にあり、焼杉板黒壁のまち並みと調和した歴史景観を形成しています。遍路道は、伊喜末、小江、長浜では海岸に沿っての集落を通り、滝宮へは農地や里山の中を通ります。

●伊喜末八幡神社は小高い丘にある古い社で、社殿や石段、社叢など歴史景観を形成しています。

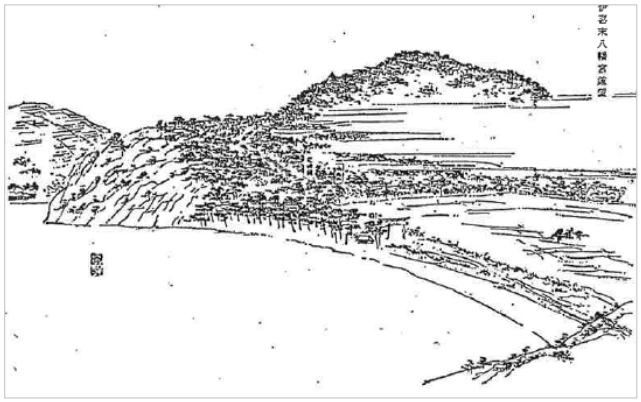
小江のまち並み

瑠璃堂

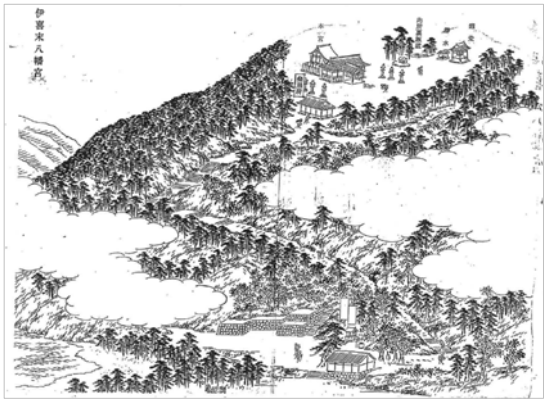
伊喜末八幡神社

景観資源【歴史的な景観】

景観要素	景観資源
史跡、名勝	縄文時代の遺跡（伊喜末八幡神社の馬場）、長浜貝塚、 蕪崎の神鏡塚（蕪崎神鏡塚出土鏡）、断層（小江～蕪崎）、 猪鹿垣、千振島の石切場跡
寺社、鎮守の森	小豆島八十八ケ所霊場、66 番等空庵、67 番瑞雲堂、68 番松林寺、 69 番瑠璃堂、70 番長勝寺、71 番滝宮堂（滝宮の梵鐘）、 伊喜末八幡神社と社叢、飽浦権現、天津神社、八坂神社と社叢
伝統的なまち並み	小江
伝統的な建築物	中陣屋（高橋伊門の屋敷跡）
「絵になる風景」看板	―



伊喜末八幡神社（松川半山筆）



伊喜末八幡神社（松川半山筆）

【都市・集落の景観】

●小江の集落は、古い地割と路地、焼杉板黒壁等伝統的な建造物からなる集落景観を有しています。

●四海漁港では、漁村と漁港の景観があり、漁船の一斉出漁船がみられます。

●小江と沖島の集落を結ぶ渡船の景観があります。

●滝宮のため池群と田園、里山は、人々の営みから生まれた景観となっています。

四海漁港（小江）の風景

沖島の渡船

滝宮地区の田園風景

景観資源【都市・集落の景観】

景観要素		景観資源
都市的景観	市街地の景観	新開の埋め立て地
	公園、レクリエーション施設の景観	土庄町野外活動センター
	道路の景観	県道 253 号
	民間の建造物等	四海鉄工所
	屋外の美術作品	魚藍観音像（小江の瀬戸）
農林漁業的景観	農山村集落	滝宮
	島嶼部の景観	沖島と渡船
	漁村集落	小江、沖島、長浜、江島
	ダム、ため池	ため池（滝宮）
	田園	滝宮
	里山	滝宮
	伝統的産業	一斉出漁船（小江と沖島に停泊する漁船）
「絵になる風景」看板		―

【文化的な景観】

●伊喜末八幡神社の秋の太鼓祭りは伝統ある文化的な景観であり、他の神社とは異なり、太鼓台を組み合う荒々しい祭りです。

伊喜末八幡神社の太鼓祭り

景観資源【文化的な景観】

景観要素	景観資源
信仰上の活動から生まれた文化的な景観	小豆島八十八ケ所霊場と遍路道
伝統的な風習、文化	伊喜末の夜念仏
伝統的な祭り	秋の太鼓祭り（伊喜末八幡神社）、みこたま祭り（小江天津神社）
伝統芸能	土俵舞と御座船唄（伊喜末八幡神社）
「絵になる風景」看板	―

2) 景観まちづくりの課題

●小江及び伊喜末の集落は、焼板杉黒壁と本瓦葺きの伝統的家屋が連続した、まとまりのあるまち並みが形成されています。また、沖之島への渡船からは美しい小江のまち並みを海から見ることができます。このような伝統的なまち並みと渡船からの眺望を保全することが求められます。

(6)豊島地区

豊島地区は、壇山を中心に家浦、唐櫃、甲生に分かれます。フェリー航路は豊島の北部を走り、家浦港、唐櫃港に接岸します。フェリー航路からは、壇山の山並みと唐櫃寒田地区の棚田や美しい海岸線を見ることができます。

壇山には、豊峰権現社社叢のスダジイの森が広がり、なだらかな北と東斜面に唐櫃の清水が湧き、棚田を潤しています。家浦は、春日川に沿って水田が広がり田園景観が見られます。また、南斜面は絶壁が連なる雄大な荒々しい姿となっています。甲生には、こじんまりとした独特の雰囲気をもった村並みがあります。

1）景観特性

【自然の景観】

●島の中央にそびえる壇山を中心に、スダジイなどの常緑の森に覆われ、その麓には唐櫃の清水が湧き出し、人の生活や農業などの営みを綴ってきた自然と集落の景観があります。

●壇山四望台（標高約 300m）から眼下に見おろす瀬戸内海眺望や、島の周囲に続く海岸などの浜辺の風景を有しています。

●自然豊かな島の景観は、春の新緑、秋の紅葉など四季折々に美しい表情を見せます。

壇山の山並み

壇山からの眺望

スダジイの森

景観資源【自然の景観】

景観要素	景観資源
海、島、島並み、湾、岩	フェリー航路からの眺め、壇山及び島内からの眺め、大小 27 の島々から成る直島諸島の眺め
海岸、浜、半島（岬）、鼻	自然海浜保全地区（甲崎東、尾子）、宮の浜、神子ヶ浜、王子ヶ浜 、宮崎、虻崎、白崎、甲崎、后飛崎、礼田崎、ダッダカ鼻
山、山並み	壇山など島中央の山並み、西地区の山並み（とんぎり山など）
森林	壇山を中心とする林、ヤマツツジ群生地
河川	春日川、甲生川
浜辺等からの眺め	海と島影、荒磯・崎・鼻からの眺め、県道からの眺め、産廃跡地からの眺め（海、夕陽）
高台等からの眺め	壇山と周辺道路からの眺望・多島美・朝日・夕陽（山頂 360°パノラマ）、御殿山からの眺望・朝日・夕陽、唐櫃岡からオリーブ園に至る高台からの眺望・朝日
樹木	スダジイの森（豊峰権現社社叢）、片山愛樹園のソテツ、唐櫃のシンパク、唐櫃八幡神社社叢、家浦のクスノキ
「絵になる風景」看板	きらびやかに光る瀬戸の海（オリーブ実る丘）

【歴史的な景観】

●家浦八幡神社は、豊島石で造られた香川県内で最古の石鳥居をはじめ社殿、参道、社叢等が歴史景観を形成しています。

●江戸時代後期に建造された片山邸は、豪壮な造りの伝統的建築物で周辺の伝統的建築物とともに歴史景観を形成しています。

●島内各地に古墳群や遺跡があり、また、神々、仏をまつる寺社、建造物が多く存在し、島の歴史と信仰心の深みを形成しています。

家浦八幡神社石鳥居

片山邸

首なし地蔵

景観資源【歴史的な景観】

景観要素	景観資源
史跡、名勝	家浦八幡神社石鳥居、古墳群等（神子ヶ浜遺跡、栄山浜遺跡、白崎古墳群、爾霊山古墳群、礼田崎貝塚など）、 豊島石採石場跡（大丁場、唐櫃西地区の露天掘り丁場跡）
寺社、鎮守の森	豊島のお大師さん、豊島の西国三十三箇所めぐり、 家浦八幡神社、唐櫃八幡神社社叢、三対神社（妙見宮）、 春日神社、薬師庵（首なし地蔵）、十輪寺（護摩堂）、 豊峰権現社社叢（スダジイの森）、春の大師めぐり
伝統的なまち並み	甲生
伝統的な建築物	片山邸
「絵になる風景」看板	―

寺本郷史筆豊島鳥瞰図

【都市・集落の景観】

●家浦・唐櫃・甲生・硯漁港周辺は、漁村集落のたたずまいを残しています。

●甲生の片山邸を中心とした集落や、独特な積み方の石垣がある唐櫃岡集落は、伝統的な民家が残る島独特の景観です。

●豊島は「福祉の島」とも呼ばれ、豊島神愛館、ナオミ荘、みくに成人寮等の施設がひとつの景観を形づくっています。

甲生漁港の景観

甲生の集落景観

唐櫃岡集落の石垣と路地

唐櫃の清水の石垣

唐櫃（棚田の田園景観）

景観資源【都市・集落の景観】

景観要素		景観資源
都市的景観	市街地の景観	家浦
	道路の景観	県道 255 号
	公共施設の景観	豊島交流センター
	美術館、資料館等	豊島美術館
	民間の建造物等	豊島神愛館
	港の景観	家浦港
農林漁業的景観	農山村集落	家浦、唐櫃、唐櫃岡、甲生
	古井戸と水路	唐櫃の清水（共同用水場）と周辺の水路
	漁村集落	家浦、唐櫃、甲生、硯
	ダム、ため池	ため池（島全体で約 360）
	田園	町内最大面積の水田地帯、唐櫃寒田地区の棚田、 唐櫃南部のミカン園とオリーブ園
	里山	家浦周辺
「絵になる風景」看板		唐櫃岡周辺案内図（清水霊水付近）

豊島美術館

クリスシャン・ボルタンスキー
「心臓音のアーカイブ」

【文化的な景観】

●地区の神社や祭りは、住民によって受け継がれてきた地域固有の文化的な景観です。

家浦八幡神社の太鼓祭り

唐櫃八幡神社の太鼓祭り

景観資源【文化的な景観】

景観要素	景観資源
信仰上の活動から生まれた文化的な景観	豊島のお大師さん、豊島の西国三十三箇所めぐりと遍路道、各地盆踊り、その他数多くの山や海を祀る神、地元信仰行事
伝統的な祭り	秋の太鼓祭り（家浦八幡神社、唐櫃八幡神社、三対神社）
「絵になる風景」看板	―

2）景観まちづくりの課題

●現代アートと豊島美術館等との連携による景観づくりが求められます。
●棚田を守る会、直島福武美術館財団等による棚田休耕田の耕作が行われています。都市等他地域との交流による継続的な地域活性化の取り組みが求められます。
●豊島の石材産業が衰退しています。特産の豊島石活用の検討が求められています。
●自然海浜の保全が求められています。
●壇山周辺道路の整備や草刈等による保全が求められています。
●県道からの優れた眺望景観を活かすために、眺望を阻害する樹木の適切な維持管理が求められています。
●島々に住む人々が、島の持つ景観のすばらしさを認知することが必要です。

(7)大部地区

フェリー航路のある大部港は、小豆島の北の玄関口となっています。フェリー航路からは、神懸山（寒霞渓）や嶮岨山の山並みを望み、妙見崎、こぼれ美島、小島などの島々と美しい海岸線を見ることができます。

県道 26 号が東西方向に海岸線に沿って走り、海岸の景観を車窓から楽しむことができます。神懸山から大部港を結ぶ県道 31 号は、急傾斜で多くのカーブを持ち、神懸山北側の豊かな山林とこぼれ美島等の美しい海岸線の眺望景観があります。

1）景観特性

【自然の景観】

●神懸山や嶮岨山の山並みとこれらの北側斜面一帯に広がる山林、こぼれ美島などの美しい海岸線を有しています。

●小部海岸（千鳥ヶ浜）や田井海岸など白砂青松の美しい海岸があります。

こぼれ美島

千鳥ヶ浜

小部のハマボウ群

景観資源【自然の景観】

景観要素	景観資源
海、島、島並み、湾、岩	フェリー航路からの眺め、島内からの眺め、こぼれ美島（大島、中之島、弁天島）、小島
海岸、浜、半島（岬）、鼻	自然海浜保全地区（小部、田井）、千鳥ヶ浜、妙見崎
山、山並み	神懸山（寒霞渓）や嶮岨山の山並み
森林	小豆島スカイライン周辺の林、美しの原高原、大部財産区有林
河川	桂川、御来迎の滝
浜辺等からの眺め	夕陽スポット（小部キャンプ場）
高台等からの眺め	神懸山から大部に向かう県道 31 号からのこぼれ美島の眺め
樹木	小部のハマボウ群、母倉家のサザンカ 、大部の大ガキ
「絵になる風景」看板	―

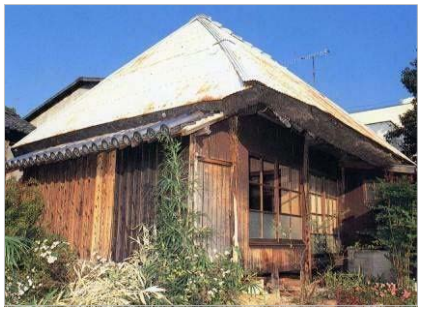
【歴史的な景観】

●恵門の瀧は、小豆島八十八ケ所霊場のうち山岳霊場として、険しい急斜面にお堂が建つ独特な景観をみせています。

●向町は、古いまち並みと醤油蔵が残っています。向井町の四ツ堂は辻堂と呼ばれ、むかし僧侶の説法や遍路の宿とされた江戸時代の建物が残り、歴史的景観をみせています。

●妙見崎はかつて耕作地（松川半山の絵画）でしたが、現在は樹木に覆われています。

恵門の瀧

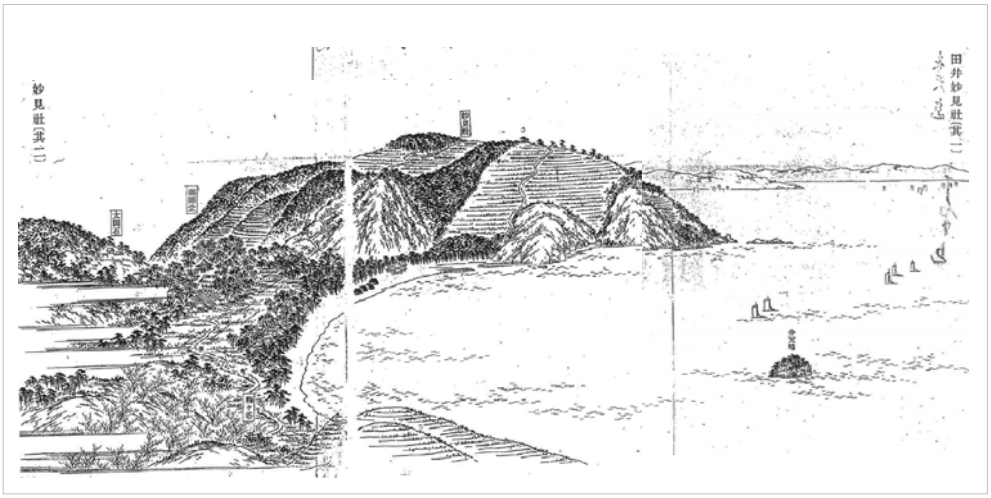


向町の四ツ堂

大部のろくろ場跡

景観資源【歴史的な景観】

景観要素	景観資源
史跡、名勝	大部のろくろ場跡、御舟ぐら跡、猪鹿垣
寺社、鎮守の森	小豆島八十八ケ所霊場、79 番薬師庵、80 番観音寺、 81 番恵門の瀧（小部恵門の不動）、山之観音、 妙見神社（田井天津神社）
伝統的なまち並み	向町
伝統的な建築物	向町の四ツ堂
「絵になる風景」看板	―



妙見崎（松川半山筆）

【都市・集落の景観】

●大部港は、岡山県日生港を結ぶフェリー航路の発着点として、小豆島の北の玄関となっています。

●小部の千鳥ヶ浜には、旅館やホテルなどが建ち並び、海浜リゾートとなっています。

●灘山に大規模な採石場があり、石材産業が行われています。

●琴塚には、ヨット製造で有名な岡崎造船所などの工場の立地がみられます。

●向町では、伝統産業の醤油製造が行われています。

大部港

醤油製造蔵

景観資源【都市・集落の景観】

景観要素		景観資源
都市的景観	市街地の景観	大部港周辺
	工業地の景観	岡崎造船株式会社
	道路の景観	県道 26 号及び 31 号
	港の景観	大部港
農林漁業的景観	漁村集落	琴塚、田井、小部
	ダム、ため池	山田ダム（周辺は野鳥の集まるスポット）
	田園	琴塚、田井、大部、小部
	里山	琴塚、田井、大部、小部
	伝統的産業	醤油製造
「絵になる風景」看板		海の里　山の里　歴史の里（大部公民館）

【文化的な景観】

●恵門の瀧は、山岳霊場として険しい急斜面に続く石段とお堂が建ち、多くの参拝者が訪れる文化景観をみせています。

●小部では、伝統的な獅子舞が受け継がれています。

恵門の瀧

小部の獅子舞

景観資源【文化的な景観】

景観要素	景観資源
信仰上の活動から生まれた文化的な景観	小豆島八十八ケ所霊場と遍路道
伝統芸能	小部の獅子舞
「絵になる風景」看板	―

2) 景観まちづくりの課題

●海岸沿いを走る県道からのすばらしい海岸景観を楽しむために、展望台等の整備と眺望を妨げる樹木の剪定等が求められています。

●伝統産業の醤油蔵など伝統産業を活かした景観まちづくりと地域活性化が求められています。

●里山に見られる猪鹿垣の保全が求められます。

●田井海岸と小部海岸の松枯れが進行しています。

４．景観計画の区域と方針

４－１．景観計画区域

土庄町には、皇踏山をはじめ、伝法川、瀬戸内海のその島々などの自然景観、古くから受け継がれてきた歴史的景観、土庄港の賑わいの都市景観、広がりのある田園や漁村の集落の景観、祭りなど人々の生活や営みによって形成されてきた文化的な景観などさまざまな景観があります。こうした町の景観は連続性を持って一体となっているものです。

今後もこうした町のすぐれた景観を活かし、より良い景観を形成していく必要があります。こうした景観の保全、整備、継承を進めていくためには、景観法に基づく各種制度の活用が考えられますが､各種制度は景観計画区域内で活用することとなっています。

以上のことを踏まえ、土庄町の景観計画区域は町の行政区域全域（水部を含む）とすることで、町全域で景観まちづくりを進めます。

行政区域全域を景観計画区域とします。

景観計画区域図

４－２．景観まちづくりの理念と目標

第５次土庄町総合計画（基本計画）に示されている「まちづくりの基本理念」は次のとおりです。

「賑わうまち　安らぐくらし　輝くひと、ともに創る交流都市・とのしょう」

このまちづくりの基本理念を踏まえ、香川県瀬戸内海景観ガイドラインに示された基本理念を基本に、土庄町景観計画の理念を次の通りとします。

景観まちづくりの理念

■土庄町の自然、歴史・文化の継承と新たな魅力の創出

・町民の手によって古くから守られてきた自然や歴史・文化を守り、継承するとともに、新たに美しく魅力あふれる景観を創出し、土庄町の魅力を高めていきます。

■地域コミュニティの活性化やさまざまな交流による自立した地域の創出

・町民が身近な景観のすばらしさに気づき、その価値を自覚するとともに、多くの人と共有することが重要です。

・町民の景観への意識の醸成や主体的な景観まちづくりの活動によって、地域コミュニティは活性化します。町民の手によって守られたすばらしい景観は、国内外の人々の来訪を促し、地域間の交流を活性化させます。

・自立した地域の形成・発展の第一歩となるよう、自発的な景観まちづくりの活動を促すような啓発や支援、仕組みづくりを進めます。

■町民、事業者・住民団体、行政などの連携による土庄町らしい景観づくり

・すばらしい景観は、その地域の魅力の向上だけでなく、土庄町全体の魅力を高めます。土庄町らしい景観づくりに向けて、町民、事業者・住民団体、行政などが連携し、一体となって取り組みます。

私たちのまち、土庄町は小豆島の玄関口としての賑わいと、瀬戸内海に囲まれ豊かな自然と古い歴史・文化が溶け込んだすばらしい景観を保有しています。町民、事業者・住民団体、行政が協働して、このすばらしい景観を守り、整え、育て、新しい景観を創りだしていく、景観まちづくりを進めていくことを目標とします。

景観まちづくりの目標

港の賑わいと豊かな自然、歴史・文化を育み
ともに輝き、創る「とのしょう」景観まちづくり

４－３．景観まちづくりの全体方針

景観まちづくりの理念と目標の下、町全域について４つの景観づくりの方針を掲げ、町内全体での連携強化と交流促進を図りつつ、景観まちづくりに取り組んでいきます。

方針１：山、川、海と連なる豊かな地形を活かした自然景観づくり

山並みと山の緑、山から流れ田畑を潤す川、四方を瀬戸内海に囲まれた美しい海岸、海岸からの眺望など土庄町固有の景観を保全し、美しい景観を活用を図る自然景観づくりをめざします。

方針２：地域の歴史的景観を守り、伝え、活用していく歴史景観づくり

地域の歴史を伝える歴史的景観は、長い時間と人々の生活から育まれてきた大切な町民の共有財産であり、これらを守り、伝え活用することをめざします。

伝統的なまち並みや集落は、全体が揃った調和した美しい歴史的景観を形成しています。これらのまち並みや集落の保全をめざします。

方針３：賑わいと魅力ある生活、安らぐくらしを演出する都市・集落景観づくり

町民の生活の場となる都市・集落において、地域住民の誇りとなる共通の生活空間を創り出すことで、まとまりのある美しい都市・集落景観づくりをめざします。

野生動物（サル、イノシシ、シカ等）からの農地保全、耕作放棄地の耕作化、オリーブ植樹、菜の花、コスモスの植え付けなどの取り組みによる田園景観保全をめざします。

住民と行政が協働による公共用地の清掃、除草、花いっぱい運動等の取り組みをめざします。

方針４：伝統を継承し、人の生活と活動を映し出す文化景観づくり

農村歌舞伎や太鼓祭りなど、人の生活や活動から生まれた伝統文化を後世に継承する文化景観づくりをめざします。

古くから信仰の対象として育まれてきた小豆島八十八ヶ所霊場と遍路道は文化景観として保全活用をめざします。

景観まちづくりの理念、目標、方針を体系的にまとめると次のようになります。

景観まちづくりの理念

- 土庄町の自然、歴史・文化の継承と新たな魅力の創出
- 地域コミュニティの活性化やさまざまな交流による自立した地域の創出
- 町民、事業者・住民団体、行政などの連携による土庄町らしい景観づくり

景観まちづくりの目標

港の賑わいと豊かな自然、歴史・文化を育み
ともに輝き、創る「とのしょう」景観まちづくり

景観まちづくり町の全体方針

- 方針１：山、川、海と連なる豊かな地形を活かした自然景観づくり
- 方針２：地域の歴史的景観を守り、伝え、活用していく歴史景観づくり
- 方針３：賑わいと魅力ある生活、安らぐくらしを演出する都市・集落景観づくり
- 方針４：伝統を継承し、人の生活と活動を映し出す文化景観づくり

景観まちづくりの地区別方針

土庄地区　淵崎地区　大鐸地区　北浦地区
四海地区　豊島地区　大部地区

景観まちづくりの推進方策

- 景観まちづくりに向けた届出と景観形成基準
- 景観重要建造物及び景観重要樹木の指定の方針
- 重点地区の指定の方針
- 景観重要公共施設の整備に関する基本方針
- 景観農業振興地域整備計画の策定に関する基本方針

４－４．景観まちづくりの地区別方針

景観まちづくりの全体方針に基づき、各地区の景観まちづくりの方針を示します。

(1) 土庄地区

方針１：山、川、海と連なる豊かな地形を活かした自然景観づくり

○銀波浦（エンジェルロード）周辺、鹿島海岸、千軒海岸、柚ヶ浜等の自然景観の保全をめざします。

○フェリー航路、土庄港、平和の群像など多くの来訪者が訪れる地点からの皇踏山の山並みなどの眺望景観、高見山などの高台等から見渡す眺望景観、黒崎の鼻（千軒）などの浜辺等からの眺望景観の保全と活用をめざします。

方針２：地域の歴史的景観を守り、伝え、活用していく歴史景観づくり

○西光寺は、朱塗りの山門と三重の塔及び大銀杏が特徴的な歴史的な景観を形づくっています。また、江洞窟は古くからかわらぬ景観を保っています。このような歴史的景観を地域の誇りとして守り、伝えていくとともに、活用していくことをめざします。

○大坂城石垣石切小瀬原丁場跡、大坂城石垣石切千軒丁場跡等の史跡群を守り、地域の歴史景観を伝え、活用することをめざします。大坂城石垣石切千軒丁場跡や堀神社の池（堀）、ろくろ岩周辺は、歴史景観を結びつける景観づくりをめざします。

方針３：賑わいと魅力ある生活、安らぐくらしを演出する都市・集落景観づくり

○土庄港周辺は、小豆島の玄関口として賑わいのある魅力的な都市景観づくりをめざします。

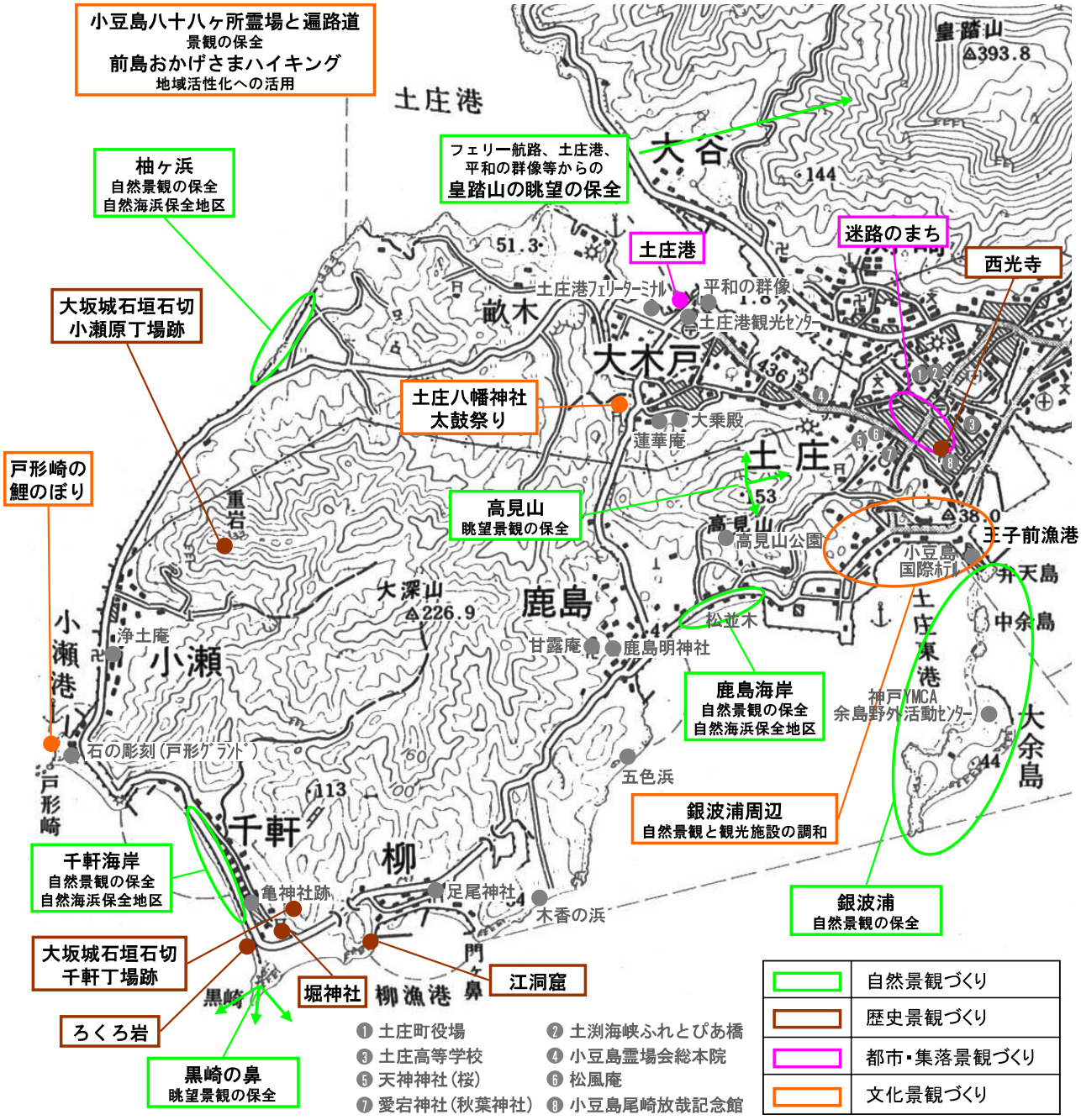
○歴史と趣のある「迷路のまち」は、門前町としての歴史と地域の個性を活かし、街路などの公共空間の景観づくり､「のれんとあんどん」など地域性を活かした景観づくり、大師市をはじめとする賑わいと住民が安らぐ景観づくりをめざします。

○銀波浦（エンジェルロード）周辺は、自然景観と観光施設が調和した景観づくりをめざします。

方針４：伝統を継承し、人の生活と活動を映し出す文化景観づくり

○小豆島八十八ケ所霊場と、それらをつなぐ遍路道などの景観を保全し、「前島おかげさまハイキング」など地域活性化に向けた活用をめざします。

○土庄八幡神社の太鼓祭りなどの伝統を継承するとともに、戸形崎の鯉のぼりなど新たな景観づくりをめざします。



土庄地区景観まちづくり方針図

(2) 淵崎地区

方針１：山、川、海と連なる豊かな地形を活かした自然景観づくり

○皇踏山の山並みと伝法川左岸の高壺山の山並みや、双子浦及び宮ノ下干潟周辺の自然景観の保全をめざします。

○伝法川の水質と生態系の保全、水辺空間を活かした自然豊かな景観づくりをめざします。

○富丘八幡神社からの瀬戸内海の眺望景観は、讃岐十景（昭和２年香川新報）に選定されており、保全と活用をめざします。

方針２：地域の歴史的景観を守り、伝え、活用していく歴史景観づくり

○富丘八幡神社や富丘古墳群、石垣と土塀に囲まれた本堂と樹齢1500年以上といわれるシンパクのある宝生院などの歴史景観を、地域の誇りとして守り、伝えていくとともに、活用していくことをめざします。

○淵崎の屋敷町など点在する歴史的建造物等を活用し､地域らしさの醸成をめざします。

○笠滝～猪鹿垣～皇踏山を結ぶ遊歩道等により、豊かな自然や歴史景観の活用をめざします。

方針３：賑わいと魅力ある生活、安らぐくらしを演出する都市・集落景観づくり

○淵崎の屋敷町地区は、伝統的な町屋を中心としたまち並み景観が形成されています。この町屋を中心としたまち並みを保全し、活用していく景観づくりをめざします。

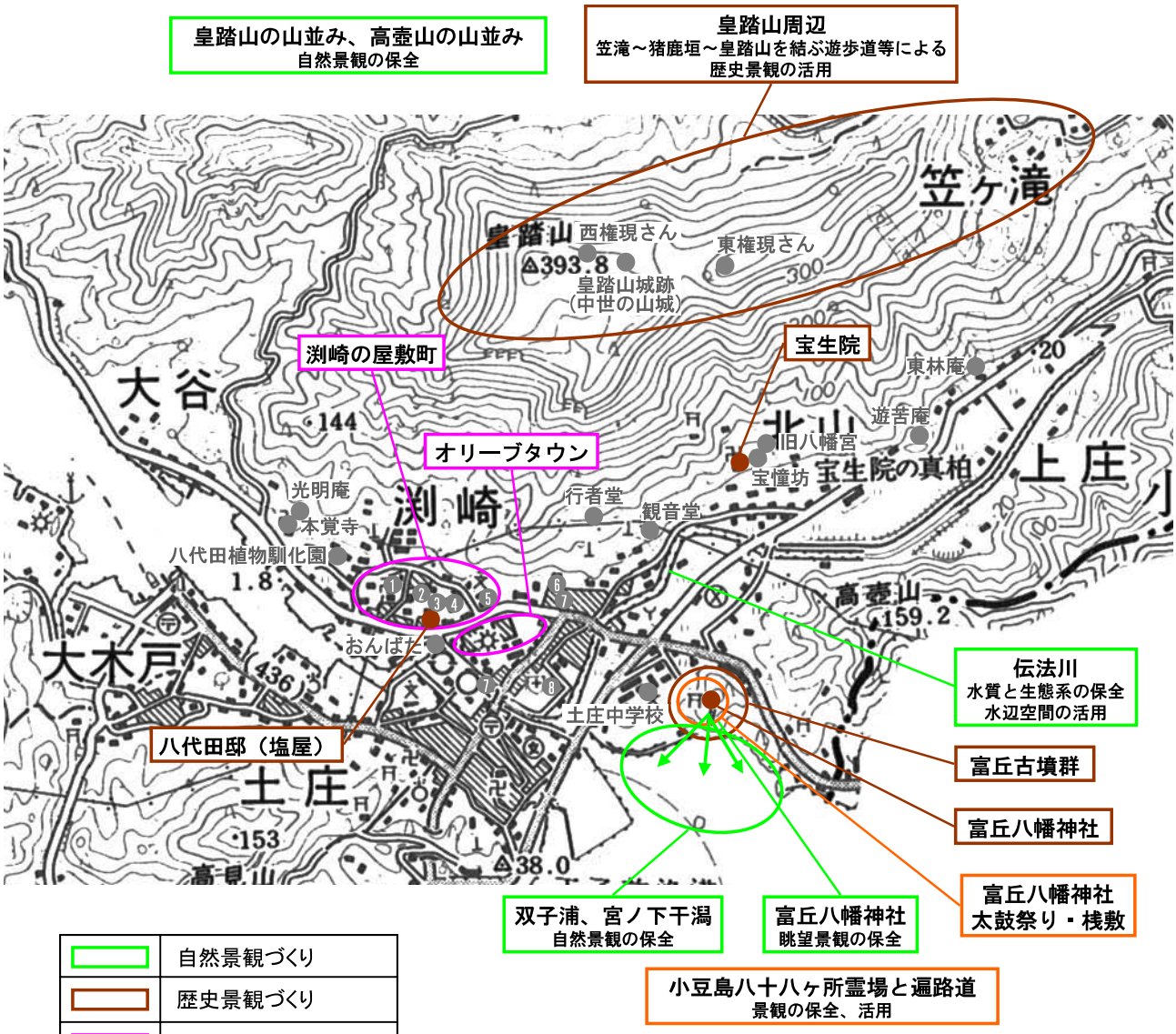
○東洋紡績渕崎工場跡地は、オリーブタウンと呼ばれショッピングセンター等の新しい都市景観が形成されており、賑わいのある魅力的な景観づくりをめざします。

○淵崎周辺では、住民による淵崎おんばたルミナリエ等が開催されています。このような取り組みを含め、住民主導による景観づくりの取り組みをめざします。

方針４：伝統を継承し、人の生活と活動を映し出す文化景観づくり

○皇踏山山麓に点在する小豆島八十八ケ所霊場と、それらをつなぐ遍路道などの景観の保全と活用をめざします。

○富丘八幡神社の太鼓祭りなど伝統を継承するとともに、祭りや各種の催しを観覧できる富丘八幡神社の桟敷の保全と活用など、文化景観づくりをめざします。



淵崎地区景観まちづくり方針図

(3) 大鐸地区

方針１：山、川と連なる豊かな地形を活かした自然景観づくり

○美しの原高原と皇踏山を結ぶ稜線と大麻山の山並みや銚子渓等の自然景観の保全をめざします。

○伝法川、銚子渓、銚子の滝、蛙子池など多くの水辺空間を有しており、下黒岩の伝法川沿いは、夏になるとホタルが飛び交います。水質と生態系の保全、水辺空間を活かした自然豊かな景観づくりをめざします。

方針２：地域の歴史的景観を守り、伝え、活用していく歴史景観づくり

○肥土山の離宮八幡神社境内には、農村歌舞伎の舞台が残され、舞台の見物席はゆるやかな階段状の桟敷で、社と社叢林とが一体となった歴史景観をつくっています。多聞寺もまた離宮八幡神社と同様に、松川半山が描いた絵とほぼ同じ景観を保持しています。このような歴史景観を地域の誇りとして守り、伝えていくとともに、活用していくことをめざします。

○笠滝～猪鹿垣～皇踏山を結ぶ遊歩道等により、豊かな自然や歴史景観の活用をめざします。

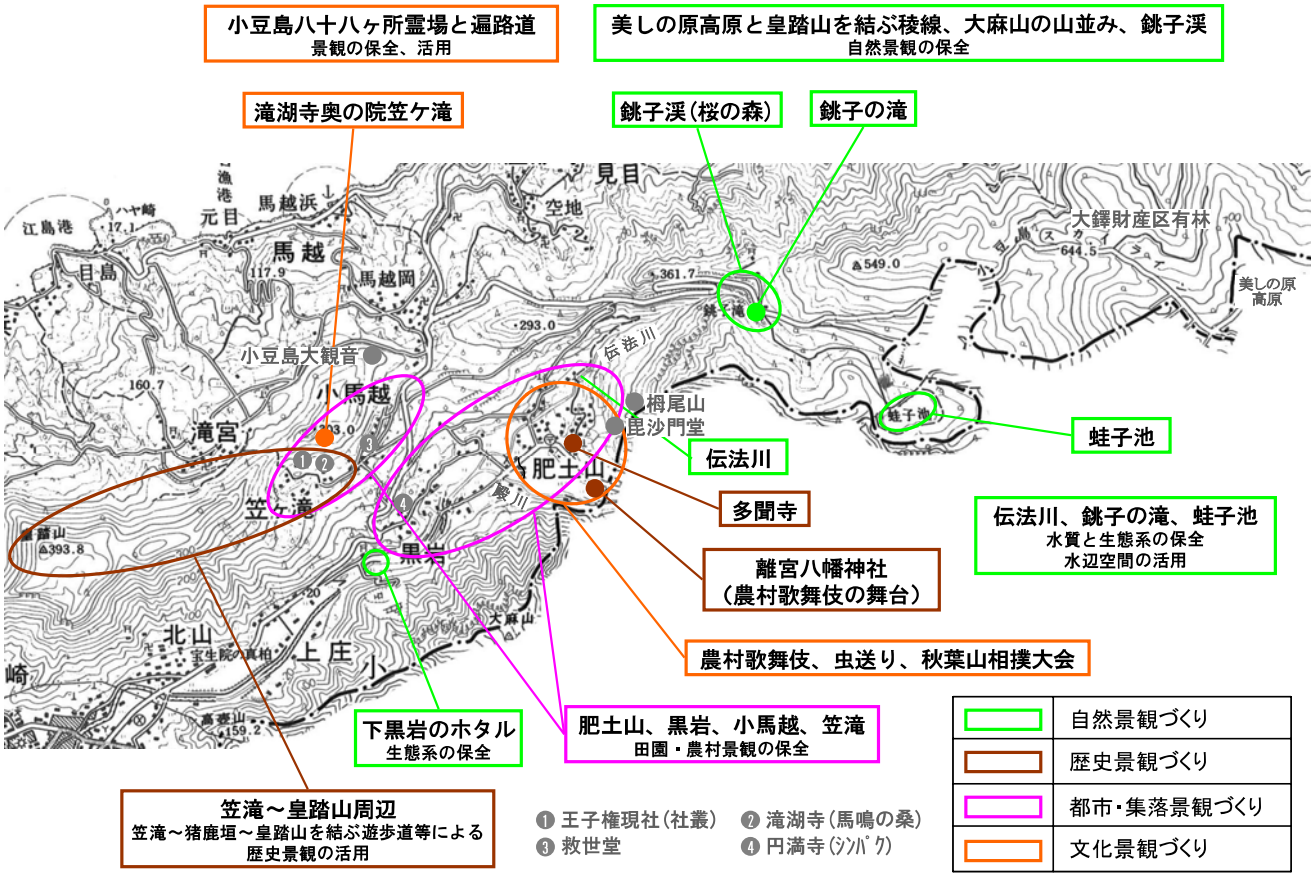
方針３：賑わいと魅力ある生活、安らぐくらしを演出する都市・集落景観づくり

○肥土山と黒岩には、集落と水田、里山からなる豊かな田園・農村景観が広がっており、小馬越と笠滝には、傾斜地に集落と田畑がつくられた農村景観が広がっています。このような田園景観や農村景観は、人々の営みから生まれた景観であり、保全し活用する取り組みをめざします。

方針４：伝統を継承し、人の生活と活動を映し出す文化景観づくり

○小豆島八十八ケ所霊場と、それらをつなぐ遍路道などの景観の保全と活用をめざします。滝湖寺奥の院笠ケ滝は、山岳霊場として急斜面に続く石段がお堂へとつながり、多くの参拝者が訪れています。このような文化景観を守り育て、多くの人が訪れ親しむことができる取り組みをめざします。

○肥土山地区では、300年以上の歴史を持つ農村歌舞伎と虫送りや相撲大会等の伝統文化を守り育て、活用することをめざします。



大鐸地区景観まちづくり方針図

(4) 北浦地区

方針１：山、川、海と連なる豊かな地形を活かした自然景観づくり

○美しの原高原から皇踏山を結ぶ稜線を背に、馬越から小海に至る北側一帯に美しい海岸線が広がり、素朴な手の加えられていない自然景観を有しています。また、小豆島西部の西海岸に面しているため夕陽が美しく、夕陽ケ丘や屋形崎などが夕陽スポットとして知られています。北側一帯に広がる海岸線の自然景観の保全や、県道や夕陽スポットからの優れた眺望景観の保全と活用をめざします。

方針２：地域の歴史的景観を守り、伝え、活用していく歴史景観づくり

○大坂城石垣石切とび越丁場跡および小海残石群、猪鹿垣などの史跡や、小海の高札場などの建造物等を守り、地域の歴史景観を伝え、活用することをめざします。

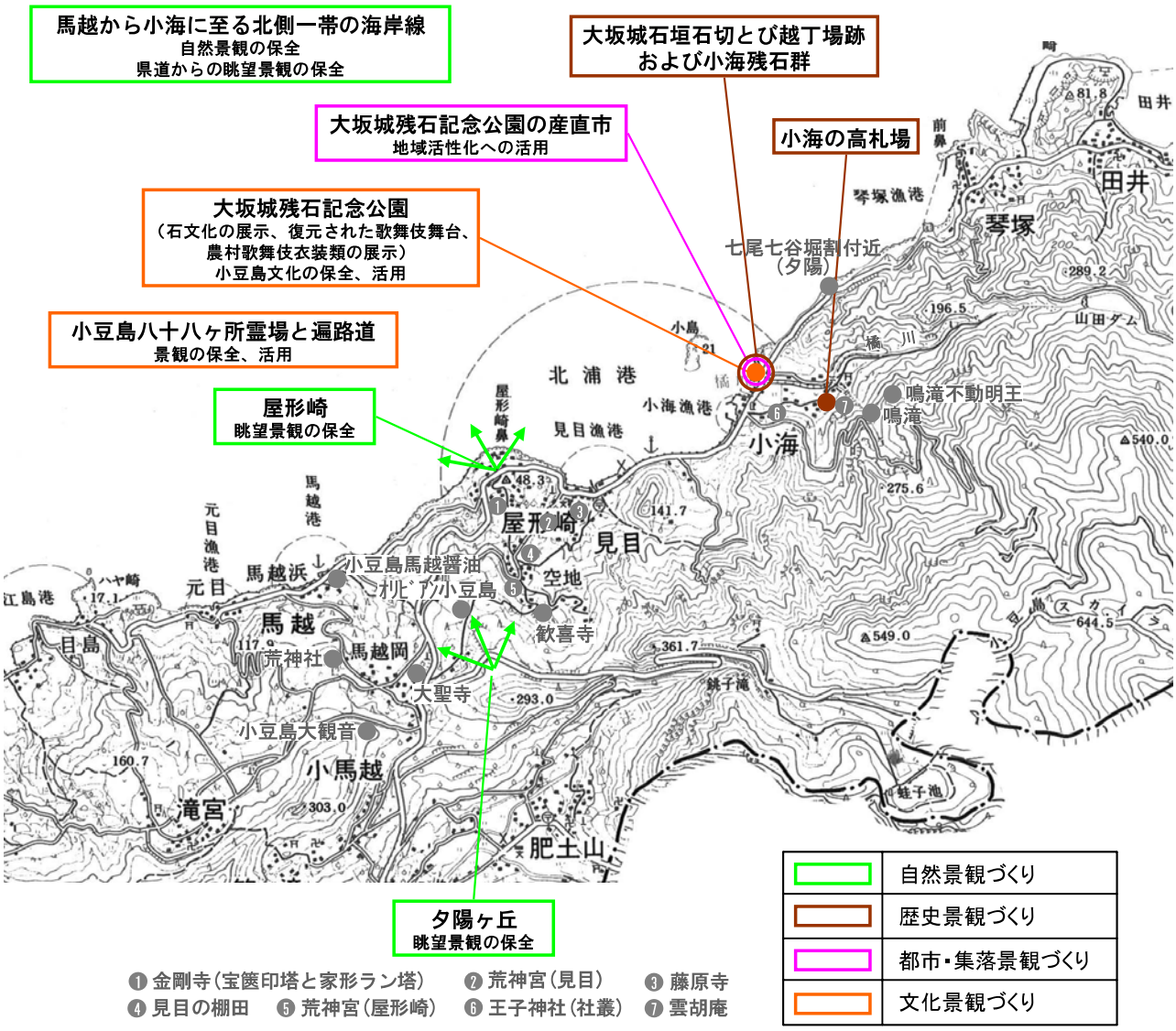
方針３：賑わいと魅力ある生活、安らぐくらしを演出する都市・集落景観づくり

○道の駅「大坂城残石記念公園」では、産直市が毎月１回開催され賑わいをみせており、地域活性化に向けた取り組みを通じて、大坂城残石記念公園周辺の魅力的な景観づくりをめざします。

方針４：伝統を継承し、人の生活と活動を映し出す文化景観づくり

○小豆島八十八ケ所霊場と、それらをつなぐ遍路道などの景観の保全と活用をめざします。

○大坂城残石記念公園には、大坂城築城残石及び石工等の石文化の展示のほか、歌舞伎舞台が復元され、農村歌舞伎衣装類の展示が行われています。小豆島の文化を守り、伝えていくとともに、活用する取り組みをめざします。



北浦地区景観まちづくり方針図

(5) 四海地区

方針１：山、川、海と連なる豊かな地形を活かした自然景観づくり

○皇踏山の山並みや沖島、葛島の島々などの美しい自然景観の保全をめざします。

○フェリー航路から眺める瀬戸内海、葛島、沖島、室崎、そして皇踏山へ移り変わるダイナミックな眺望。皇踏山からの瀬戸内海を見渡す優れた眺望。西海岸からの豊島、小豊島等の島々を背景とした美しい夕陽など。これらの眺望景観の保全と活用をめざします。

方針２：地域の歴史的景観を守り、伝え、活用していく歴史景観づくり

○四海地区の集落は、焼杉板黒壁のまち並みと古い寺社などが調和した歴史景観を形成しています。伊喜末八幡神社は、小高い丘にある古い社で、社殿や石段、社叢など歴史景観を形成しています。このような歴史的景観を地域の誇りとして守り、伝えていくとともに活用していくことをめざします。

○皇踏山の中世の山城、官牛放牧の跡地、猪鹿垣、八坂神社など歴史景観を結びつける景観づくりをめざします。

○笠滝～猪鹿垣～皇踏山を結ぶ遊歩道等により、豊かな自然や歴史景観の活用をめざします。

方針３：賑わいと魅力ある生活、安らぐくらしを演出する都市・集落景観づくり

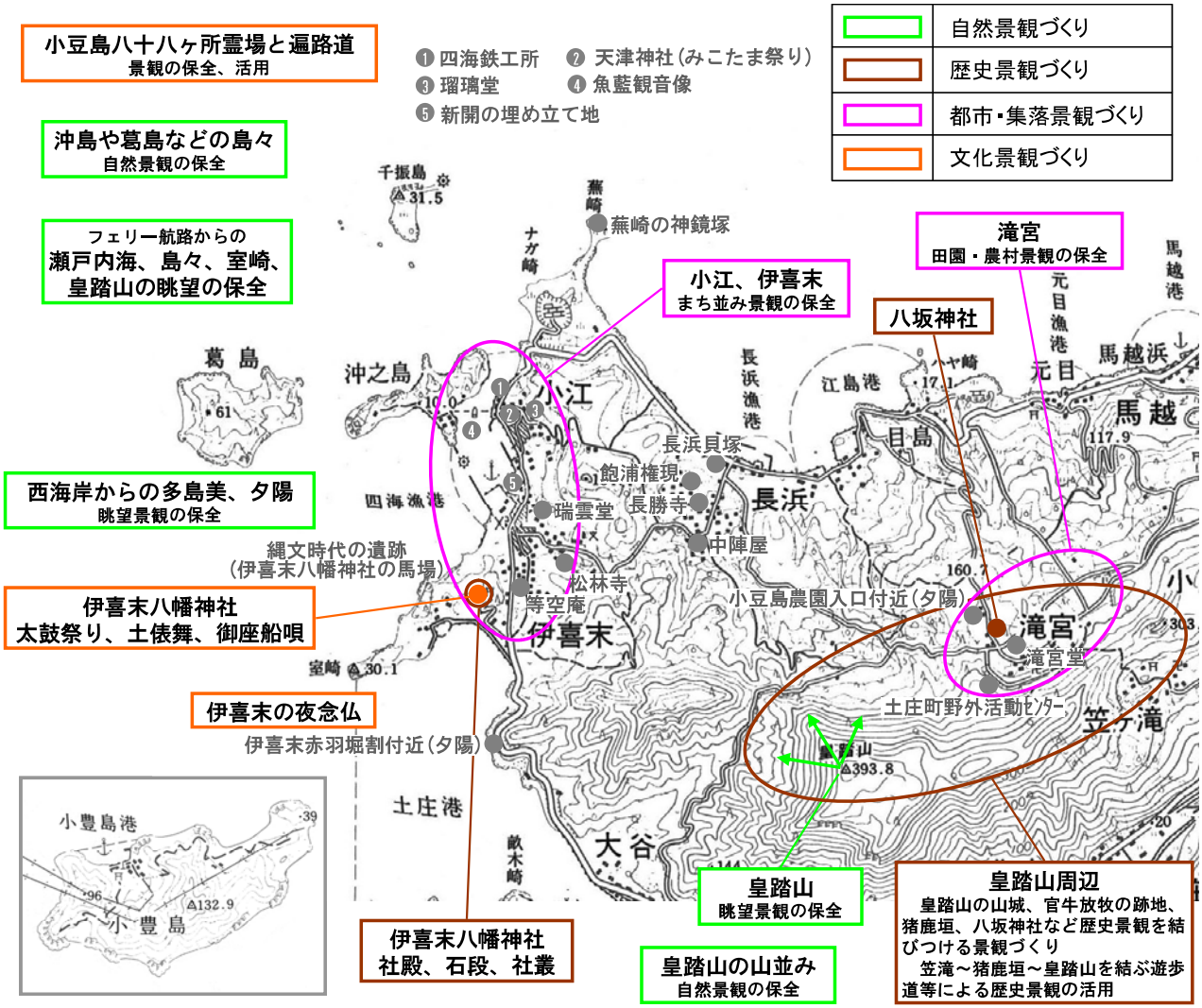
○小江及び伊喜末の集落は、古い地割と路地、焼板杉黒壁と本瓦葺きの伝統的家屋が連続した、まとまりのあるまち並みが形成されています。小江からは沖島への渡船があり、港、まち並み、渡船、渡船からの眺望など優れた景観があります。これらの景観を守り育て、活用することをめざします。

○滝宮のため池群と田園、里山は、人々の営みから生まれた景観であり、保全し、活用する取り組みをめざします。

方針４：伝統を継承し、人の生活と活動を映し出す文化景観づくり

○小豆島八十八ケ所霊場と、それらをつなぐ遍路道などの景観の保全と活用をめざします。

○伊喜末八幡神社の太鼓祭りは、伝統ある文化的な景観であり、他の神社とは異なり、太鼓台を組み合う荒々しい祭りです。伊喜末八幡神社の太鼓祭り、土俵舞と御座船唄、伊喜末の夜念仏などの伝統的な祭り、伝統芸能、風習を継承し、伝統文化を守り育て、景観づくりに活用することをめざします。



四海地区景観まちづくり方針図

(6)豊島地区

方針１：山、川、海と連なる豊かな地形を活かした自然景観づくり

○島の中央にそびえる壇山を中心とした山並み、スダジイなどの常緑の森に覆われた山林、甲崎東海岸や尾子海岸をはじめ島の周囲に続く海岸などの優れた自然景観の保全をめざします。

○壇山、御殿山等の高台からの眺望景観、島の周囲に続く浜辺等からの眺望景観の保全と活用をめざします。特に、壇山から眼下に見下ろす瀬戸内海の眺望や多島美、朝日、夕陽を誰もが楽しめるように、周辺道路の整備や草刈等による眺望景観の保全をめざします。

方針２：地域の歴史的景観を守り、伝え、活用していく歴史景観づくり

○島内各地に古墳群や遺跡があり、また、神々、仏をまつる寺社などの建造物が多く存在し、島の歴史と信仰心の深みを形成しています。このような歴史的景観を地域の誇りとしてまもり、伝えていくことをめざします。

○家浦八幡神社は、豊島石で造られた香川県内で最古の石鳥居をはじめ社殿、参道、社叢等が歴史景観を形成しています。また、江戸時代後期に建造された片山邸は、豪壮な造りの伝統的建築物で周辺の伝統的建築物とともに歴史景観を形成しています。これらの歴史景観を保全し、活用していくことをめざします。

○大丁場などの豊島石採石場跡の保全と活用をめざします。

方針３：賑わいと魅力ある生活、安らぐくらしを演出する都市・集落景観づくり

○家浦・唐櫃・甲生・硯漁港周辺は、漁村集落のたたずまいを残しています。また、独特な積み方の石垣がある唐櫃岡集落は、伝統的な民家が残る島独特の景観です。これらの景観の保全をめざします。

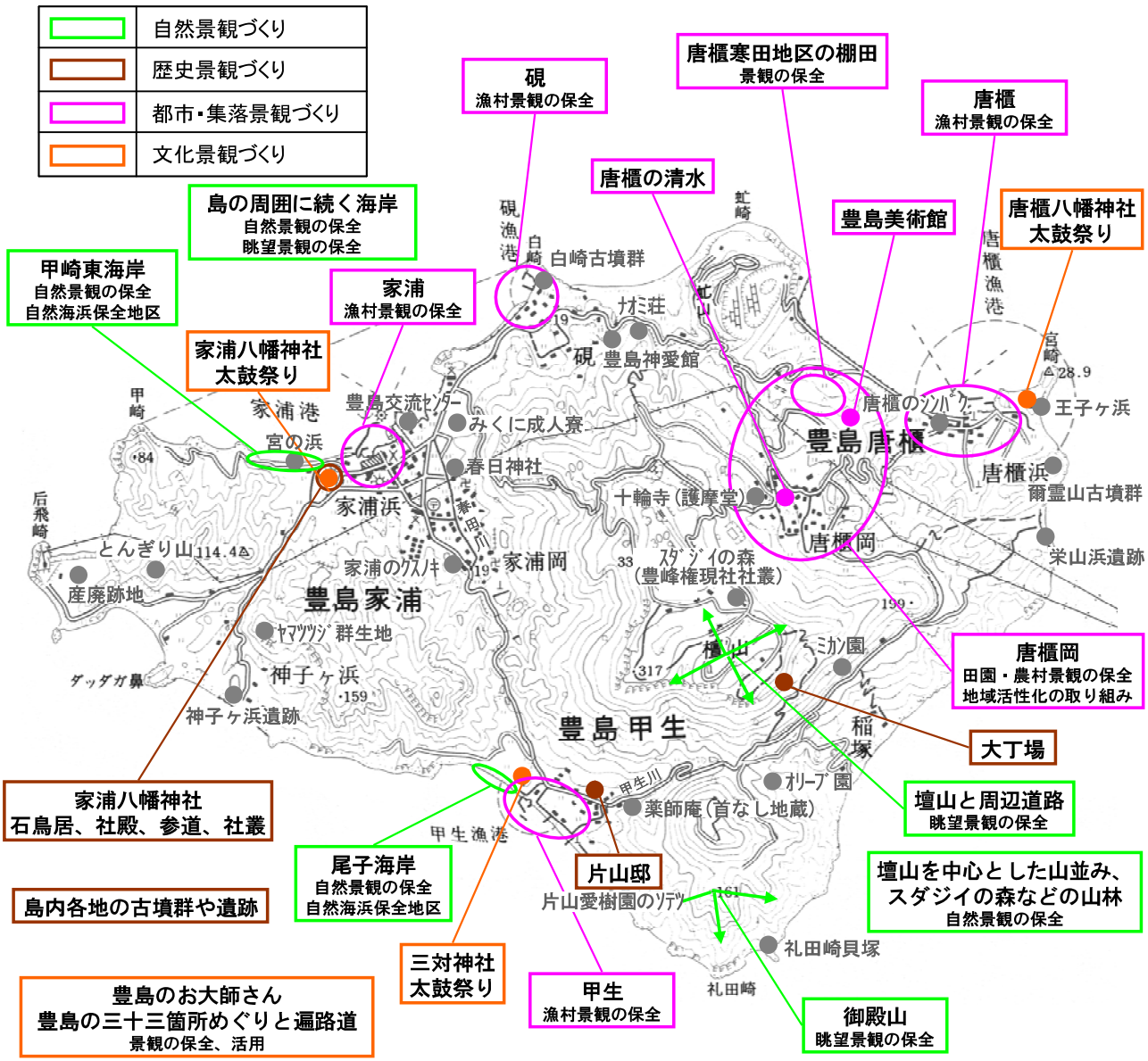
○唐櫃の清水、唐櫃寒田地区の棚田、集落からなる田園・農村景観を保全し、現代アートと豊島美術館等との連携を図り、調和のとれた集落景観づくりをめざします。また、棚田を守る会や直島福武美術館財団等による棚田休耕田の耕作など、都市等他地域との交流による継続的な地域活性化の取り組みをめざします。

○かつては豊島石を用いた石材産業が栄えていましたが、現在は衰退しています。特産の豊島石活用などによる魅力的な景観づくりと地域活性化をめざします。

方針４：伝統を継承し、人の生活と活動を映し出す文化景観づくり

○島内に点在する「豊島のお大師さん」「豊島の西国三十三箇所めぐりと遍路道」などの景観の保全と活用をめざします。

○家浦八幡神社や唐櫃八幡神社、三対神社の太鼓祭りなどの伝統を継承するとともに、各地の盆踊りや地元信仰行事等の伝統文化を守り育て、景観づくりに活用することをめざします。



豊島地区景観まちづくり方針図

(7) 大部地区

方針１：山、川、海と連なる豊かな地形を活かした自然景観づくり

○神懸山や嶮岨山の山並みとこれらの北側斜面一帯に広がる山林、こぼれ美島、小部海岸（千鳥ヶ浜）や田井海岸の白砂青松などの美しい自然景観を有しており、これら自然景観の保全をめざします。

○海岸沿いを走る県道からのすばらしい海岸景観を誰もが楽しめるように、道路周辺の樹木の維持管理や展望台等の保全と整備をめざします。

方針２：地域の歴史的景観を守り、伝え、活用していく歴史景観づくり

○大部のろくろ場跡、御舟ぐら跡、猪鹿垣などの史跡や、江戸時代に建てられた向井町の四ツ堂などの伝統的な建築物等を守り、地域の歴史景観を伝え、活用することをめざします。

方針３：賑わいと魅力ある生活、安らぐくらしを演出する都市・集落景観づくり

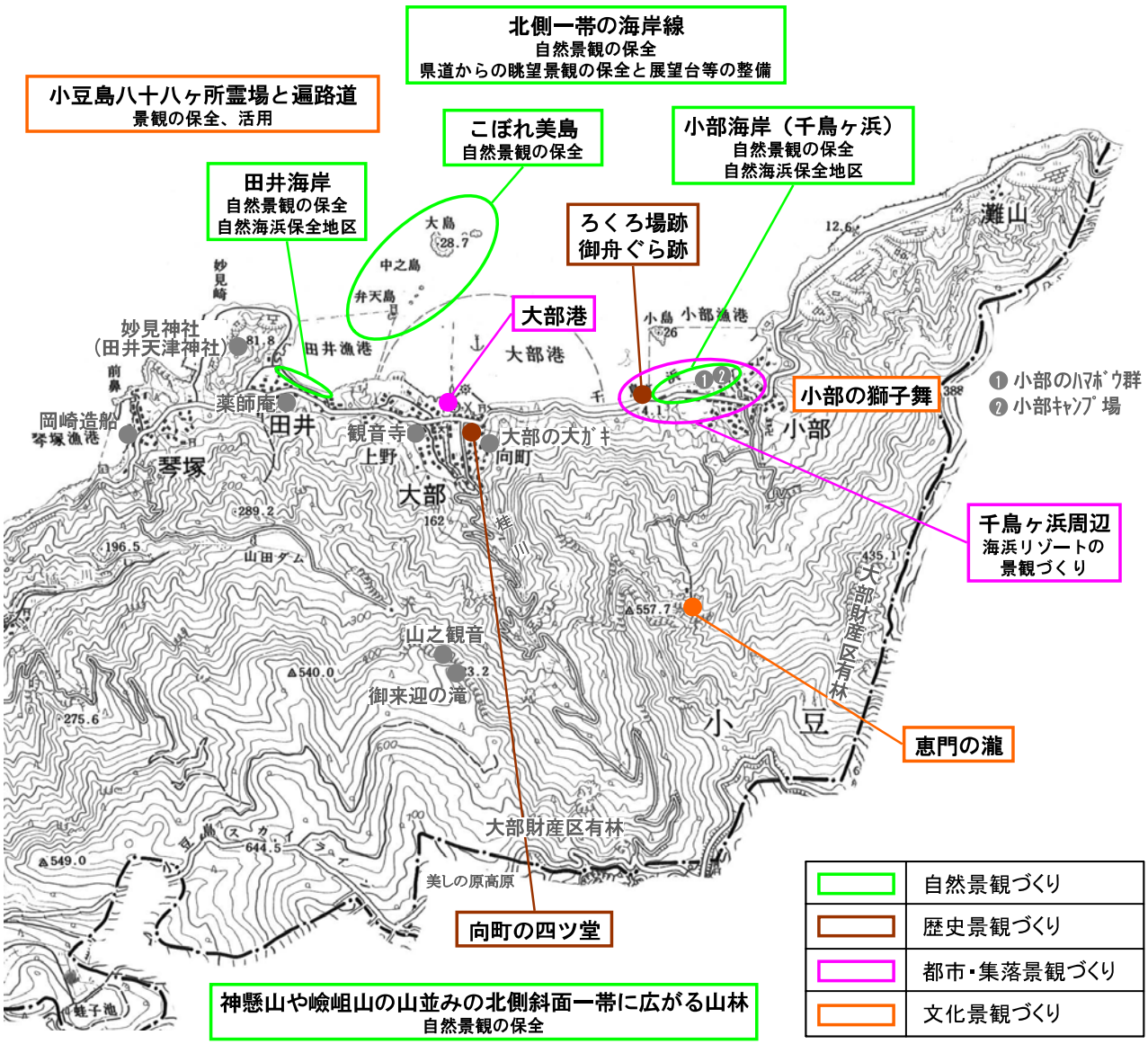
○フェリー航路のある大部港は、小豆島の北の玄関口となっています。大部港周辺の公共空間の景観づくりと、醤油蔵など伝統的建築物と産業を活かした賑わいのある景観づくりをめざします。

○小部の千鳥ヶ浜周辺には、旅館やホテルなどが建ち並んでおり、海浜リゾートの景観づくりをめざします。

方針４：伝統を継承し、人の生活と活動を映し出す文化景観づくり

○小豆島八十八ケ所霊場と、それらをつなぐ遍路道などの景観の保全と活用をめざします。恵門の瀧は、山岳霊場として急斜面に続く石段がお堂へとつながり、多くの参拝者が訪れています。このような文化景観を守り育て、多くの人が訪れ親しむことができる取り組みをめざします。

○小部では、伝統的な獅子舞が受け継がれています。このような伝統文化を守り育て、景観づくりに活用することをめざします。



大部地区景観まちづくり方針図

５．景観まちづくりの推進方策

５－１．景観まちづくりに向けた届出と景観形成基準

(1)届出が必要な事項

次に該当する行為を行う場合は、あらかじめ町への届出を必要とします。

<table>
<tr><th colspan="2">行為の種類</th><th>届出対象となる規模等</th><th>備考</th></tr>
<tr><td rowspan="2">建築物</td><td>・建築物の新築，増築，改築又は移転
・外観を変更することとなる修繕、模様替え、色彩の変更</td><td rowspan="3">以下のいずれかに該当するもの
・高さが１３ｍを超えるもの
・延べ面積が５００㎡を超えるもの

（増築・改築又は修繕・模様替え・色彩の変更は、建築物・工作物全体が上記規模を越えるもので、変更部分が過半となるもの）</td><td>景観法
第 16 条
第 1 項第 1 号</td></tr>
<tr><td rowspan="2">工作物</td><td rowspan="2">・工作物の新設，増築，改築又は移転
・外観を変更することとなる修繕、模様替え、色彩の変更</td><td rowspan="2">景観法
第 16 条
第 1 項第 2 号</td></tr>
<tr><td>・高さ１５ｍを越える鉄塔類
・太陽電池モジュール（太陽光パネル）の合計面積が１，０００㎡を超える太陽光発電設備類
・高さが１３ｍを超える風力発電設備類</td></tr>
<tr><td>開発行為</td><td>・都市計画法第４条第 12 項に規定する開発行為</td><td>行為に係る区域の面積
・３，０００㎡を越えるもの</td><td>景観法
第 16 条
第 1 項第 3 号</td></tr>
<tr><td rowspan="2">その他</td><td>・土地の開墾等土地の形質の変更</td><td>・対象面積が１，０００㎡を超えるもの</td><td rowspan="2">景観法
第 16 条
第 1 項第 4 号</td></tr>
<tr><td>・屋外の土石、廃棄物、再生資源等の堆積</td><td>・土石の堆積：高さ５ｍ
又は面積が１，０００㎡を超えるもの

・廃棄物、再生資源等の堆積：高さ５ｍ
又は面積が１，０００㎡を超えるもの

（但し、堆積の期間が３０日を越えて継続しないものは除く）</td></tr>
</table>

※届出の対象となる工作物は、土庄町景観条例（平成 23 年土庄町条例第 15 号）第 2 条第 3 号で規定するものとする。

(2)景観まちづくりの基準

景観まちづくりの目標をめざして、景観計画区域（町全域）で行われる「届出が必要な事項」に該当する行為について、守るべき景観まちづくりの基準を示します。

区分			景観まちづくりの基準
建築物	形態意匠		1．周辺の景観との調和に配慮し、圧迫感を与えないよう工夫すること。
	色　彩		1．屋根及び外壁は、周囲の景観と調和する落ち着きのある色彩を基調とすること。
	位　置		1．主要な眺望地点からの眺望を妨げないよう配慮すること。 2．山並みをなす稜線を乱さないように配置すること。
	緑　化		1．道路に面する場所は花木等の緑化に努めること。
工作物	共通事項	形態意匠	1．周辺の景観との調和に配慮し、圧迫感を与えないよう工夫すること。
		色彩	1．目立つ色彩は避け、周囲の景観と調和する落ち着きのある色彩を基調とすること。
		位置	1．主要な眺望地点からの眺望を妨げないよう配慮すること。 2．山並みをなす稜線を乱さないように、できる限り低い位置に配置すること。 3．鉄塔、電柱、電波塔類は、周辺の景観への影響を極力抑えるよう配慮すること。
		緑化	1．道路に面する場所は花木等の緑化に努めること。
	個別的事項	太陽光発電設備類	1．太陽電池モジュール(太陽光パネル)の色彩は、黒色若しくは濃紺色、又は低明度かつ低彩度の目立たないものを使用すること。 2．太陽電池モジュールは、できるだけ低反射で模様が目立たないものを使用すること。 3．太陽光発電設備等の最上部はできる限り低くし、周囲の景観から突出しないように配慮すること。 4．太陽電池モジュールの勾配は周囲の景観に調和するように配慮すること。 5．太陽電池モジュールのフレームや架台の色彩は、周囲の景観と調和するように配慮し、素材はできるだけ低反射のものを使用すること。 6．パワーコンディショナー、分電盤、フェンスなどの附属設備の色彩は、周囲の景観と調和するように配慮すること。 7．稜線上への設置はできるだけ避けること。ただし、設置する場合は、稜線を乱さないように配置や高さに配慮すること。 8．歩行者及び周辺の景観への影響のあるものは、敷地境界及び道路境界からできる限り後退し、必要に応じて植栽などにより修景に努めること。 9．主要な眺望地点や主要な道路からの景観を阻害しないように配置の工夫や植栽などにより修景に努めること。
		風力発電設備類	1．風力発電設備（支柱及びプロペラなど）の色彩は、周囲の景観と調和するものであり、低彩度の目立たないものを使用すること。ただし、他法令の規定により着色等が義務付けられている場合は、この限りでない。 2．稜線上への設置はできるだけ避けること。ただし、設置する場合は、稜線を乱さないように配置や高さに配慮すること。 3．主要な眺望地点や主要な道路からの景観を阻害しないように配置の工夫や植栽などにより修景に努めること。

<table>
<tr><td>開発行為</td><td colspan="2">1．開発後の状態が、周辺の景観と著しく不調和とならないこと。
2．造成等での擁壁及び法面は、必要最小限にとどめ、法面は緑化に努め周辺の景観と調和を図ること。
3．斜面における土地の形状を変更する場合は、現状の形状を生かすよう配慮するとともに、植栽等による修景に努めること。
4．樹木の伐採は必要最小限にとどめること。
5．住宅用敷地面積の最低限度を 150 ㎡以上とすること。なお、面積は延長敷地及び法面を除いた有効敷地面積とする。以下の場合は適用除外とする。
・地形形状など、やむを得ない事情があると認められる場合</td></tr>
<tr><td rowspan="2">その他</td><td>・土地の開墾等土地の形質の変更</td><td>1．行為後の状態が、周辺の景観と著しく不調和とならないこと。
2．長大な法面を生じないよう配慮し、法面は緑化に努めること。
3．行為後は、地域に育成する樹木による緑化等により景観の復元に努めること。</td></tr>
<tr><td>・屋外の土石、廃棄物、再生資源等の堆積</td><td>1．集積等の面積は必要最小限にとどめ、高さは極力低くするとともに、整然とした堆積とすること。
2．道路や公共の場から容易に望見できない位置とするか、周囲から見えにくいよう遮へい又は生け垣等植栽を施し、周辺の景観に配慮すること。</td></tr>
</table>

届出について、町は届出に係わる行為が上記の景観形成基準に適合しないと認めるときは、その届出をしたものに対し、届出に係わる行為について、設計の変更その他の必要措置をとることを勧告することができます。

主要な眺望地点や主要な道路から見た景観については、4．景観まちづくりの地区別方針（土庄町景観計画 36P～49P）に記載される各地区の景観まちづくり方針図をご参照ください。

太陽光発電設備類の景観まちづくりの基準については、太陽光モジュール（太陽光パネル）だけでなく、フレームやパワーコンディショナーやフェンスなどの付属設備も適応します。

５－２．重点的に景観形成を図る方策

(1)景観重要建造物及び景観重要樹木の指定の方針

景観重要建造物及び景観重要樹木は、地域の景観形成上のシンボルとなる重要な建造物や樹木について指定します。

景観重要建造物の指定の方針

町域内の多様な建築物のうち、景観の形成に重要な役割を果たしている建造物を「景観重要建造物」として指定し、その適切な保全・活用を図ります。

対象	指定の方針
景観重要建造物	外観が景観上の特徴を有し、道路その他公共の場所から容易にみることのできる建築物のうち、次のいずれかに該当するもの ア）地域の自然や歴史・文化・風土などにより育まれた特徴的な外観を有し、地域景観の中でランドマークや核を形成すると考えられるもの。 イ）文化財としての価値や歴史的価値にかかわらず、地域住民に大切に守られ、地域の誇りとなっているもの。 ウ）周辺景観などと調和した景観を創出し、地域の景観形成に主導的な役割を果たすと考えられるもの。 エ）地域の景観を形づくってきた意匠や工法の建築技術、石積み等の技術、農林水産業の生産施設等、素材に地域の特産を使用しているものや、その時代の匠や職人の技が光るもの。

適用除外　国宝、重要文化財

景観重要樹木の指定の方針

樹木のうち、景観の形成に重要な役割を果たしている樹木を「景観重要樹木」として指定し、その適切な保全・活用を図ります。

対象	指定の方針
景観重要樹木	健全かつ樹容が美観上に優れており、道路その他公共の場所から容易にみることのできる樹木のうち、次のいずれかに該当するもの ア）地域のシンボルとして人々に愛され、自然や生活環境、美観、風致を維持するために重要な役割を担うと考えられるもの。 イ）種類、樹齢、植物学的価値や、自然保護的価値にかかわらず、地域住民に大切に守られ、地域の誇りとなっているもの。 ウ）新たに周辺の自然景観、まち並みなどと調和した地域イメージを生みだし、地域の景観形成に重要な役割を果たすと考えられるもの。

適用除外　特別史跡名勝天然記念物又は史跡名勝天然記念物

⑵重点地区の指定の方針

景観まちづくりを進める上で、特に重要な地区を重点地区として位置づけ、景観まちづくりのモデル地区として良好な景観まちづくりをめざします。

重点地区の指定の方針
・重点地区は必要性と緊急性が高く、景観まちづくりに対する地元の意向があり、住民主体のまちづくりの機運がある地区を優先します。 ・重点地区は公共事業や民間プロジェクトが計画され、公的な景観形成の推進、民間事業の誘導が可能な地区を優先します。 ・重点地区は地区住民の景観形成に対する熟度により範囲を定めないものから、範囲を定め届出対象行為と景観形成基準を示すものまで幅を持たせます。

範囲を定めない重点地区を次に示します。

- 土庄港周辺
- 「迷路のまち」を中心とする土庄本町周辺
- 淵崎の屋敷町周辺
- 肥土山周辺
- 大坂城残石記念公園周辺
- 小江、沖之島と渡船周辺
- 唐櫃岡周辺
- 大部港周辺

５－３．景観誘導方策

(1) 景観重要公共施設の整備に関する基本的な事項

景観重要公共施設の整備に関す基本方針
景観まちづくりを進める上で、道路、港湾、公園、河川などの公共施設が果たす役割は大きく、施設の整備や管理においては、景観づくりに配慮した取組が求められています。 今後は、主要な道路、港湾、公園、河川などの公共施設について、各施設の管理者と協議の上、本町の景観づくりを先導すべき施設として整備等について総合的に進めていきます。

(2) 景観農業振興地域整備計画の策定に関する基本的な事項

景観農業振興地域整備計画の策定関す基本方針
本町には、まとまりのある農地・山林と周辺の集落地が織りなす農山村の風景が広がり、そこでは農林業を生業として地域の暮らしが営まれ、本町の持つ自然の豊かさと人々の暮らしが調和した農山村の景観がつくられてきました。 しかし、近年後継者不足や高齢化の進展により耕作放棄地が増加するなど、良好な景観を維持することが困難となっていることが危惧されています。そこで、まとまりのある農地と周辺の集落地が織りなす農山村の景観の保全・創出を図り、周辺の景観に配慮しつつ良好な営農を確保していくために、必要に応じて「景観農業振興地域整備計画」を策定し、本計画に掲げる「本町全域及び地域別の景観まちづくりに関する方針」との整合を図りながら、良好な農山村の景観を保全・創出するための農地管理や景観作物の栽培などを促進します。

「景観農業振興地域整備計画」を策定する際は、次の事項を踏まえて策定します。

●保全・創出すべき景観の特色

・棚田や周辺の里山、ため池、水路、集落などが一体となった農山村の風景
・農地、里山などから成る農山村の風景
・ため池などのかんがい施設を持つ農山村の風景
・肥土山の棚田と集落、農村歌舞伎舞台の風景と「農村歌舞伎」「虫送り」などの伝統行事

●保全・創出すべき地域の範囲

本町が策定する景観農業振興地域整備計画において定める、良好な農山村の風景を保全・創出すべき地域とします。

土庄町景観計画

―　平成２３年３月　―

―　平成２９年１２月　変更　―

土庄町建設課

〒761-4192　香川県小豆郡土庄町甲 559 番地 2

電　話（０８７９）６２－７００６

ﾌｧｯｸｽ（０８７９）６２－２４００

e-mail kensui@town.tonosho.lg.jp